



アイ
ワ
フ
ィ
ィ
ィ

2023年3月期
決算プレゼンテーション資料

2023年5月

目次

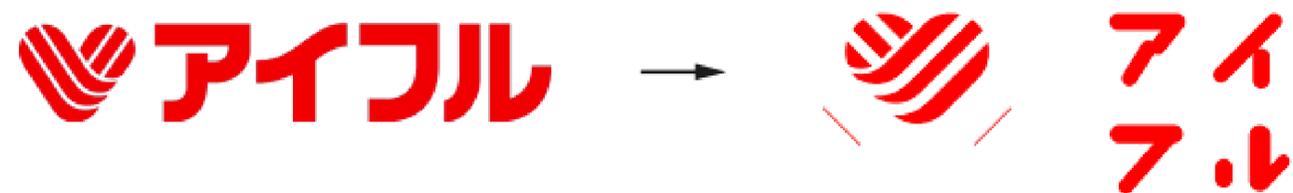
01	イントロダクション	03 - 09
02	連結決算概況	10 - 18
03	アイフルグループの『変化』	19 - 24
04	アイフル決算概況	25 - 35
05	ライフカード決算概況	36 - 47
06	グループ各社決算概況	48 - 52
07	参考資料	53 - 63

01 インTRODクシヨソ

2023年3月期 トピックス

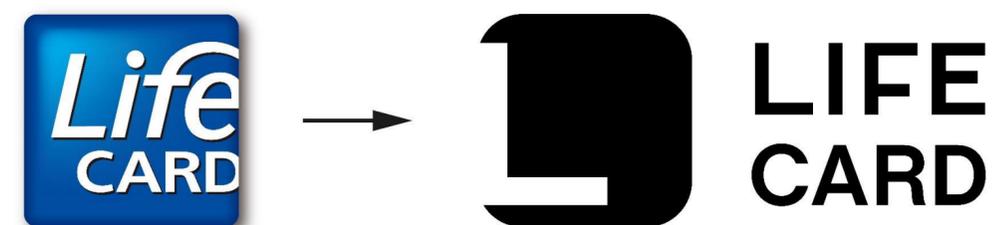
アイフルグループ VI刷新

2022年7月7日より



グローバル戦略を見据え
新たな「アートシンボル」と「社名ロゴ」に

2023年2月1日より



「情緒的価値」を重視し、
「若年層」に選ばれることを目指す

2023年3月期 トピックス

グループ会社の商号・ロゴ変更



AG MEDICAL

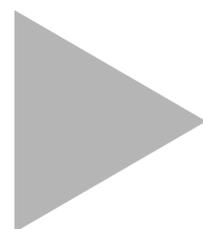


アイフル **住まいる** リースバック

AG Capital

AG Crowd Fund!ng

アイフルパートナーズ



 AG ビジネスサポート

 AG メディカル

 AG ミライバライ

 AG ギャランティー

 AG 債権回収

 AG 住まいるリースバック

 AG キャピタル

 AG クラウドファンディング

 AG レンディング

 AG パートナーズ

 AG ストックセンター

決算ダイジェスト(連結)

- 連結での新規獲得件数は、2006年3月期以降最高の35万9千件となり、順調な貸し付けに伴い、営業債権残高も12年ぶりに1兆円を突破
- 営業収益は1,441億円(前期比9%増)、当期純利益は223億円(前期比81%増)と増収増益で着地
- 2024年3月期も、将来的な高い利益水準の確保を目的に先行投資を継続
その結果、営業収益は1,612億円、当期純利益は226億円の見通し

主要数値・通期計画(連結)

- 新規獲得件数や買上の増加により、営業債権残高は12年ぶりに1兆円を突破。営業収益も前期比9.1%増の1,441億円で着地

単位:百万円	22/3	23/3	前期比 増減額	前期比 増減率	24/3(E)	前期比 増減額	前期比 増減率
営業債権残高	887,407	1,015,910	128,502	14.5%	1,156,400	140,489	13.8%
ローン事業	582,349	648,760	66,411	11.4%	715,600	66,839	10.3%
無担保ローン	505,255	550,647	45,392	9.0%	600,600	49,952	9.1%
有担保ローン	18,282	25,979	7,697	42.1%	31,700	5,720	22.0%
事業者ローン	58,810	72,133	13,322	22.7%	83,200	11,066	15.3%
クレジット事業	116,780	142,899	26,119	22.4%	182,000	39,100	27.4%
支払承諾見返	172,697	204,078	31,380	18.2%	236,400	32,321	15.8%
信用保証事業	171,797	203,492	31,695	18.4%	236,100	32,607	16.0%
その他	900	585	-315	-35.0%	300	-285	-48.8%
営業収益	132,097	144,152	12,054	9.1%	161,200	17,047	11.8%
営業費用	120,855	120,427	-428	-0.4%	136,000	15,572	12.9%
営業利益	11,242	23,724	12,482	111.0%	25,200	1,475	6.2%
経常利益	12,265	24,428	12,162	99.2%	25,500	1,071	4.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	12,334	22,343	10,008	81.1%	22,600	256	1.1%

決算概要(連結)

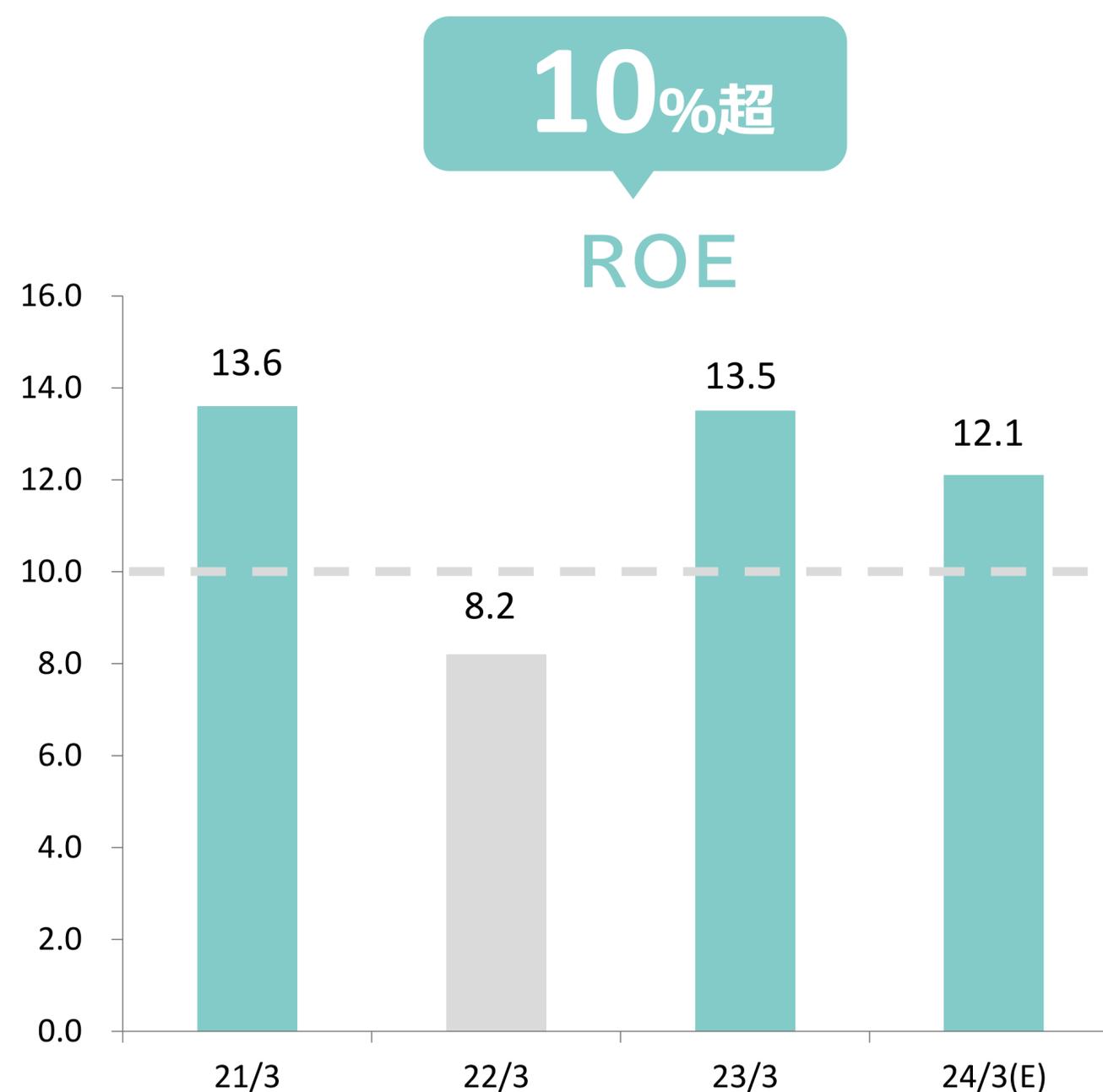
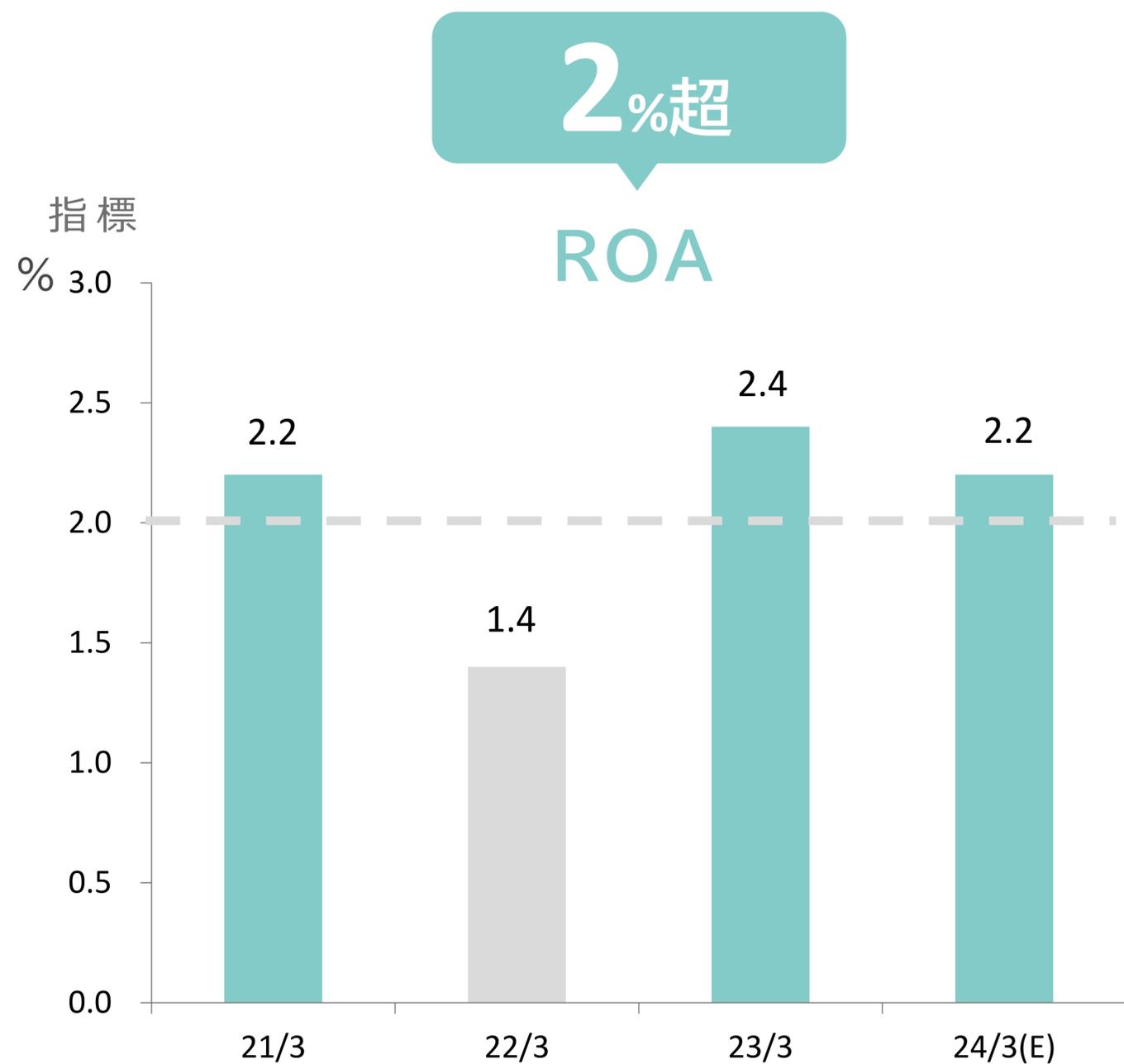
- 営業債権残高拡大に伴う宣伝・貸倒関連費用は増加も、調達金利低下・業務効率化により、営業費用は横這いの1,204億円で着地
- 特別損失4億円は、AGパートナーズが行うホテル再生事業の損失計上を要因とするもの

単位：百万円	22/3	23/3	前期比 増減額	前期比 増減率
営業収益	132,097	144,152	12,054	9.1%
営業貸付金利息	76,332	83,230	6,898	9.0%
信用購入あっせん収益	20,099	23,158	3,058	15.2%
信用保証収益	15,730	17,030	1,299	8.3%
その他の営業収益	19,934	20,732	798	4.0%
営業費用	120,855	120,427	-428	-0.4%
金融費用	7,041	7,068	27	0.4%
利息返還関連費用	19,929	-	-19,929	-
貸倒関連費用	27,918	36,004	8,085	29.0%
宣伝関連費用	14,590	20,737	6,147	42.1%
人件費	16,704	17,386	682	4.1%
その他の費用	34,670	39,229	4,558	13.1%

単位：百万円	22/3	23/3	前期比 増減額	前期比 増減率
営業利益	11,242	23,724	12,482	111.0%
営業外収益	1,058	747	-311	-29.4%
営業外費用	35	44	8	24.7%
経常利益	12,265	24,428	12,162	99.2%
特別利益	-	-	-	-
特別損失	-	468	468	-
税引前利益	12,265	23,959	11,694	95.3%
法人税・住民税および事業税	2,602	3,349	746	28.7%
法人税等調整	-3,374	-2,336	1,038	-
非支配株主に帰属する当期純利益	703	603	-100	-14.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	12,334	22,343	10,008	81.1%

収益性に対するKPI

ROA・ROE推移



02 連結決算概況

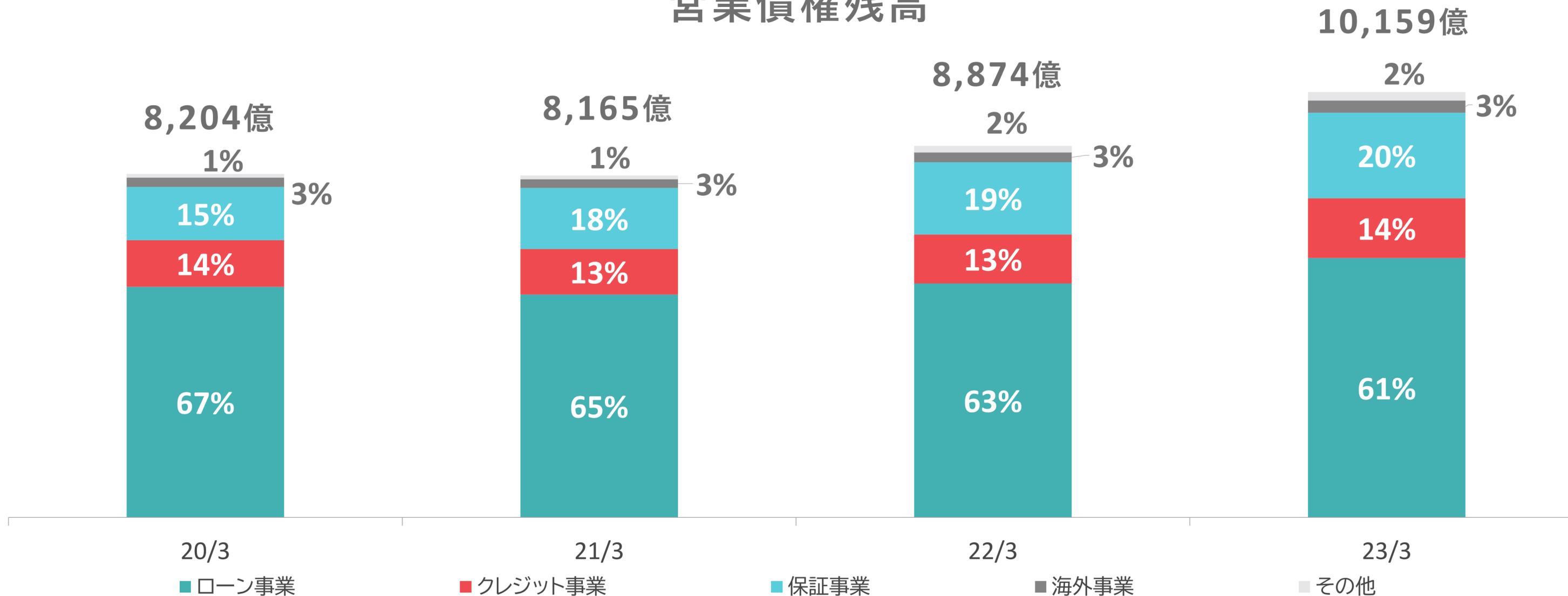
業績ハイライト/営業債権残高

【事業ポートフォリオの考え方】

ローン事業に依らない安定的な収益確保を目的とし、保証事業等の
フィービジネスやクレジット事業の強化など金融事業の多角化を目指す

- 保証事業の拡大を要因に、債権ポートフォリオは改善

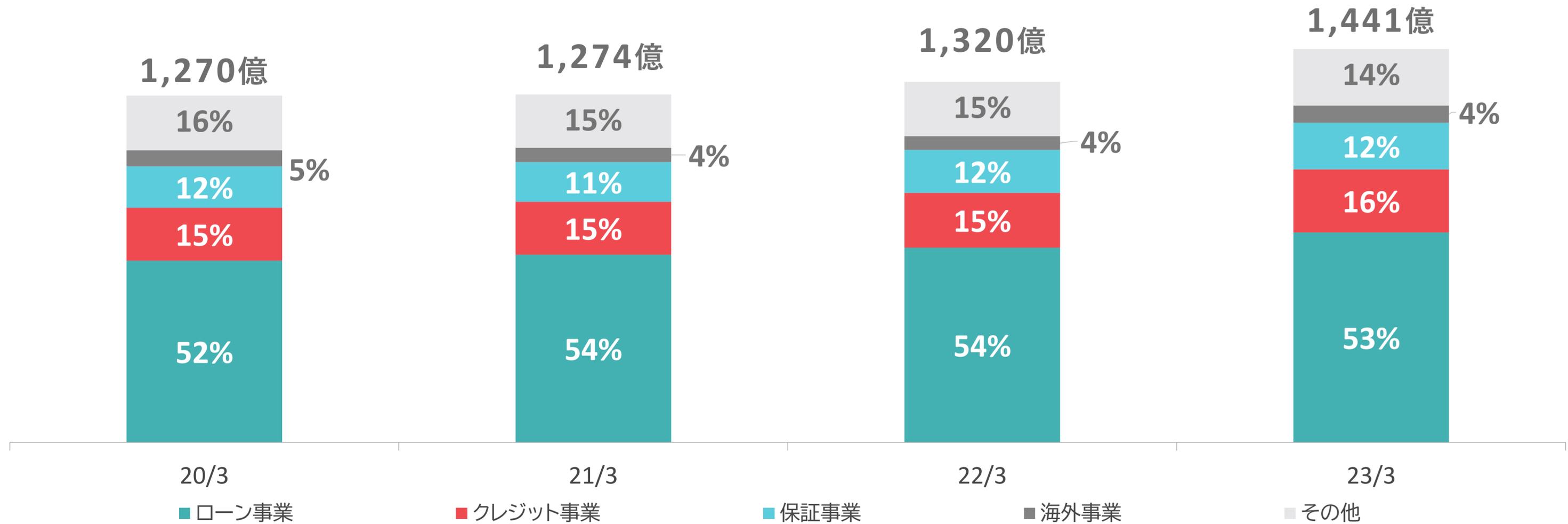
営業債権残高



業績ハイライト/営業収益

- 営業債権残高の拡大に伴い、営業収益も安定的に増加

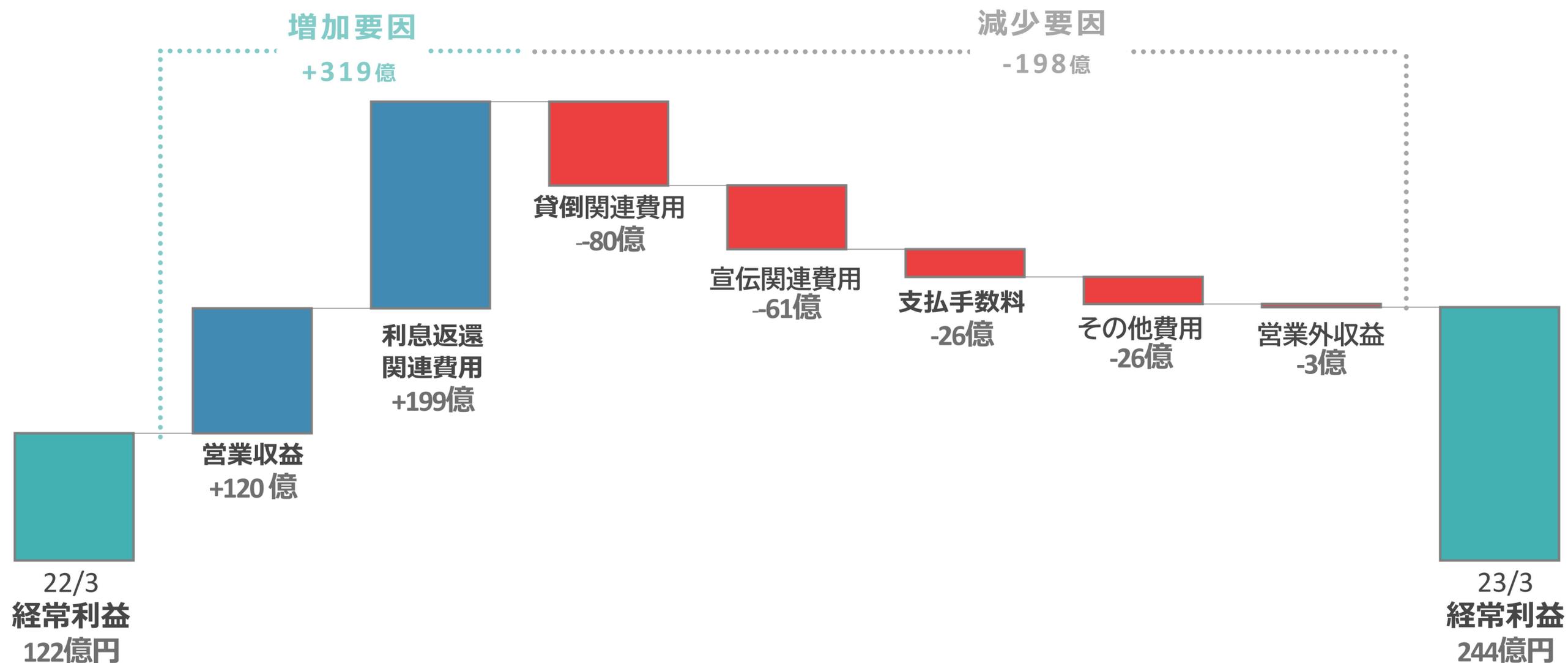
営業収益



業績ハイライト/経常利益

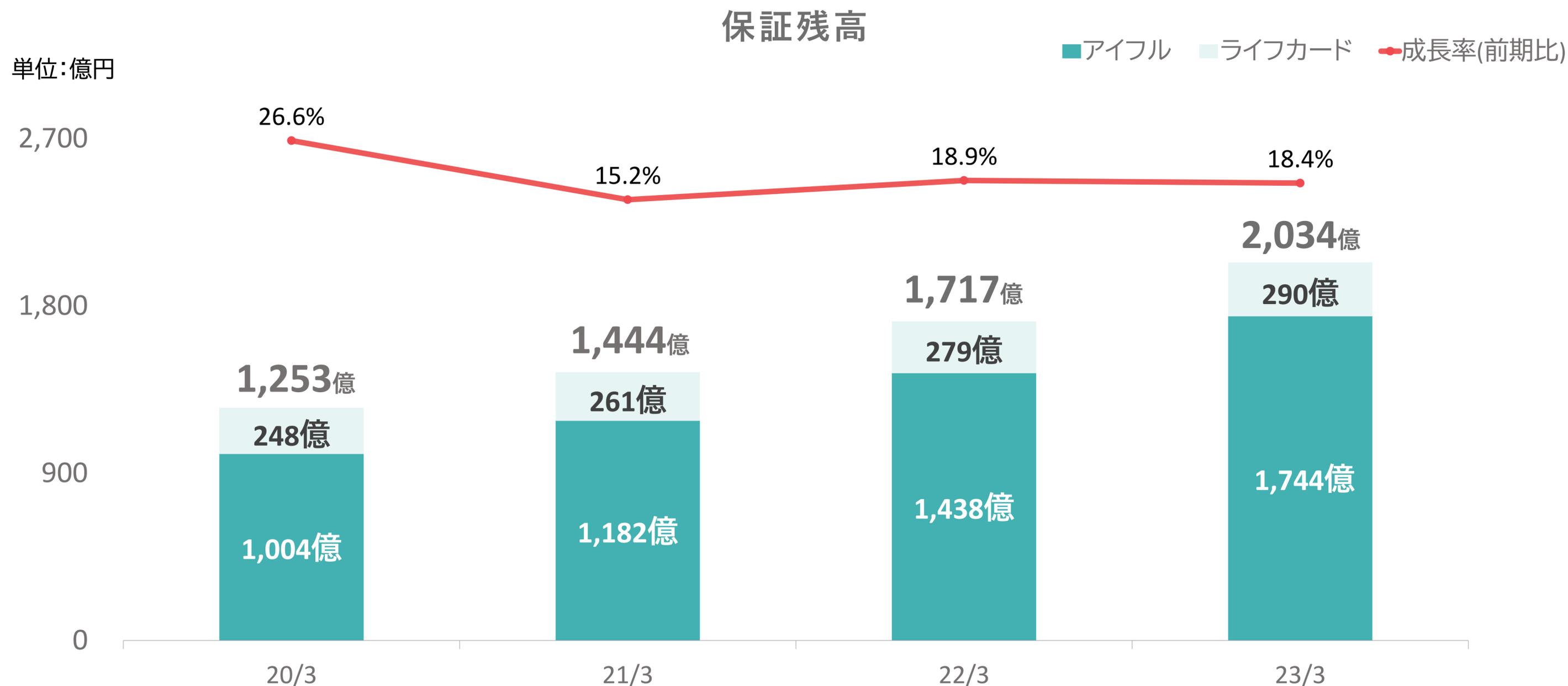
- 更なる営業債権残高拡大に向けた広告宣伝費の積極投下および残高成長に伴い貸倒関連費用等が増加

経常利益の増減要因



信用保証事業/個人・事業者向け保証残高(アイフル/ライフカード)

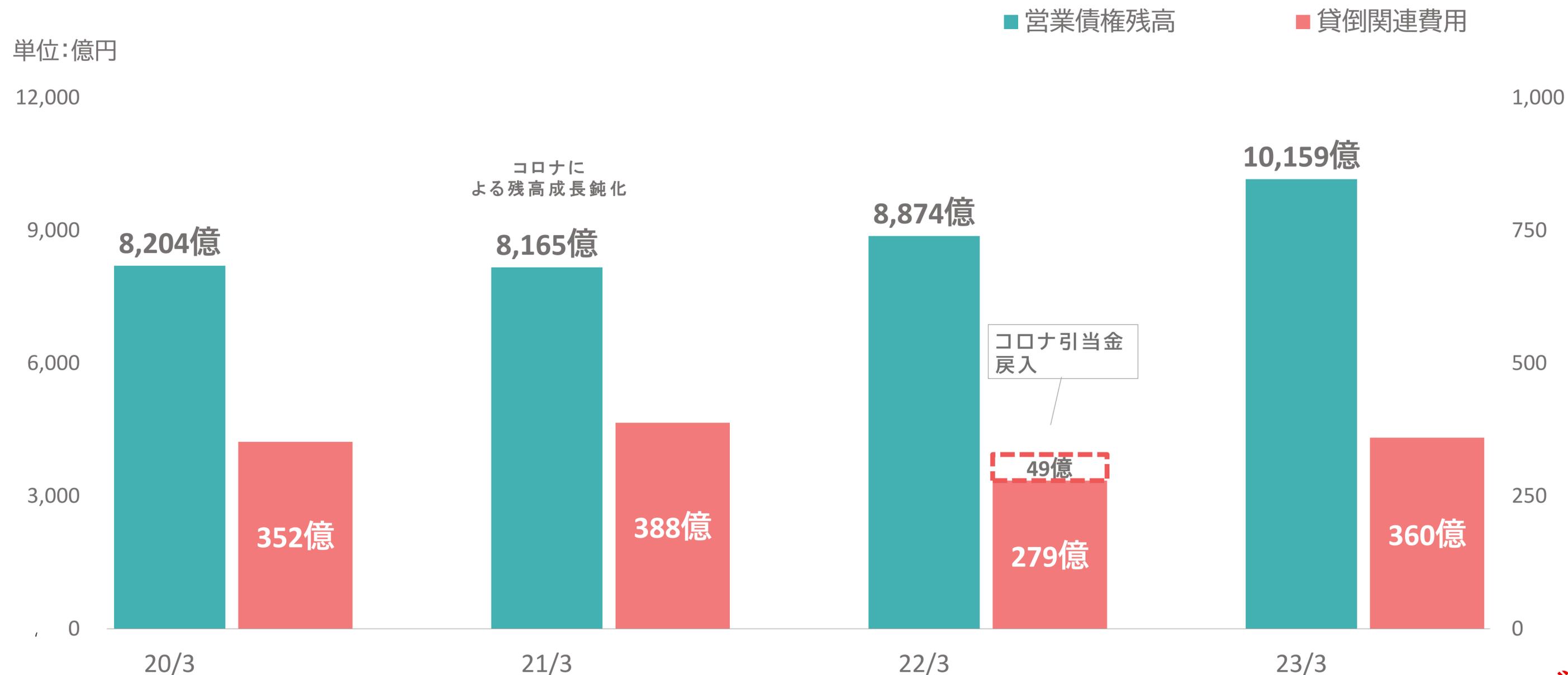
- 商品の多様化や提携先との関係強化に取り組んだ結果、信用保証残高は前期比18.4%増の2,034億円



営業債権残高/貸倒関連費用

- 営業債権残高の増加に伴い、貸倒関連費用は前期比29%増の360億円

営業債権残高と貸倒関連費用の推移

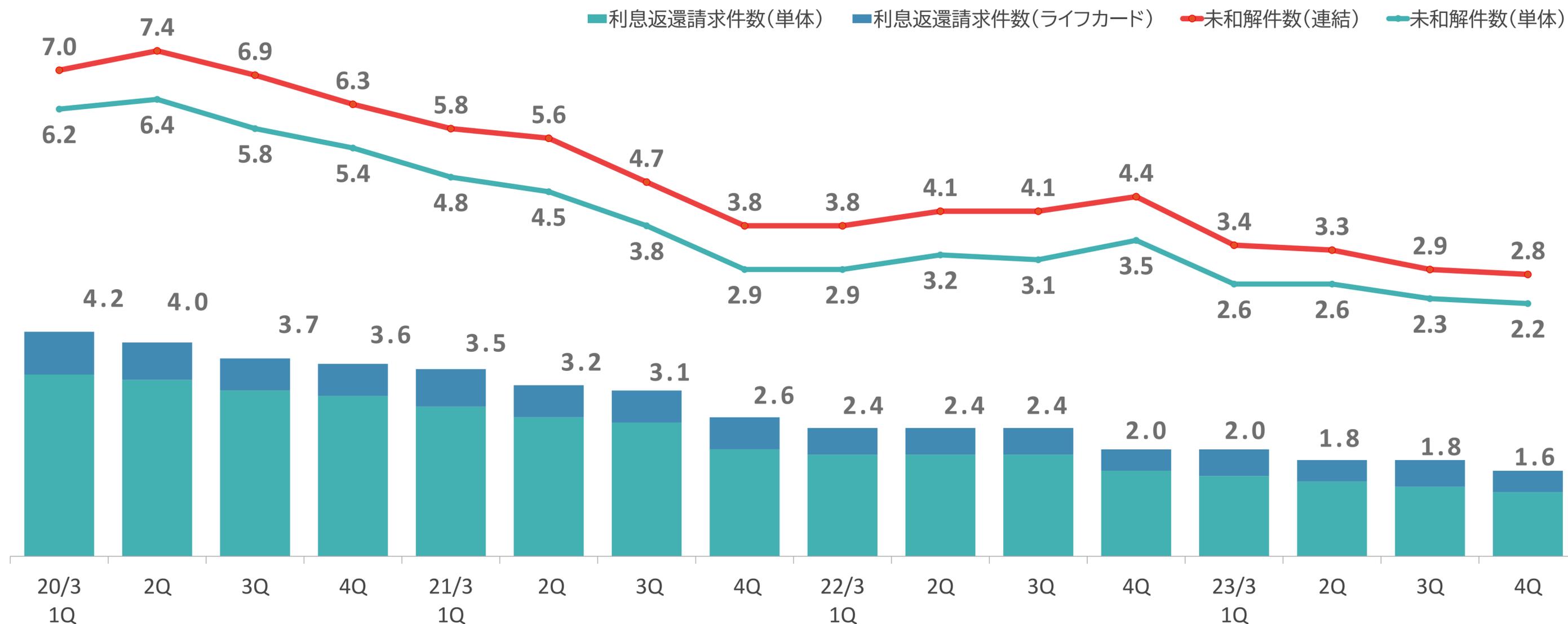


利息返還/利息返還請求件数及び未和解件数(連結)

- 利息返還請求件数は引き続き減少し1,600件、在庫となる未和解件数は2,800件

利息返還請求件数および未和解件数の推移

単位:千件



利息返還/引当金の内訳(連結)

- 期首引当金残高274億円から発生額79億円を取り崩し、期末引当金残高は195億円(単体は167億円)

利息返還引当金残高(連結)

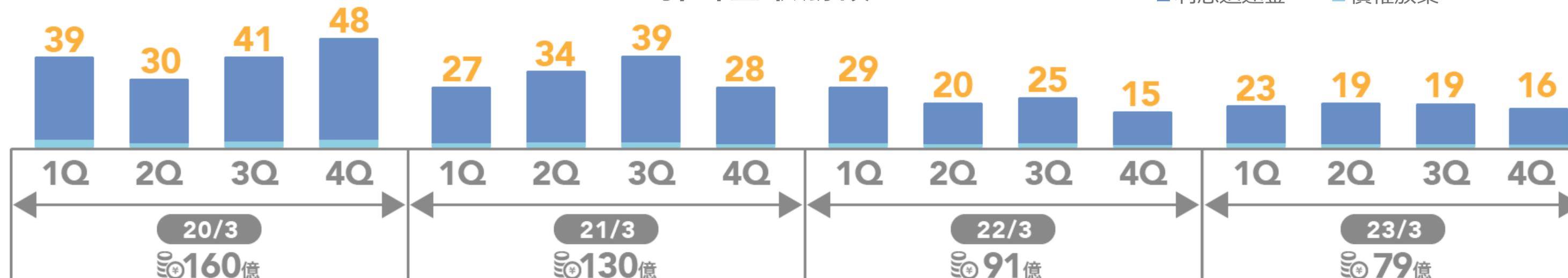
単位:百万円	利息返還 損失引当金	債権放棄 引当金	合計
期首引当金残高	24,594	2,898	27,492
発生額(取崩額)	7,210	737	7,948
繰入額(戻入額)	-	-	-
期末引当金残高	17,383	2,160	19,544

参考:利息返還引当金残高(単体)

利息返還 損失引当金	債権放棄 引当金	合計
21,334	2,414	23,749
6,391	594	6,986
-	-	-
14,943	1,819	16,762

単位:億円

引当金取崩額

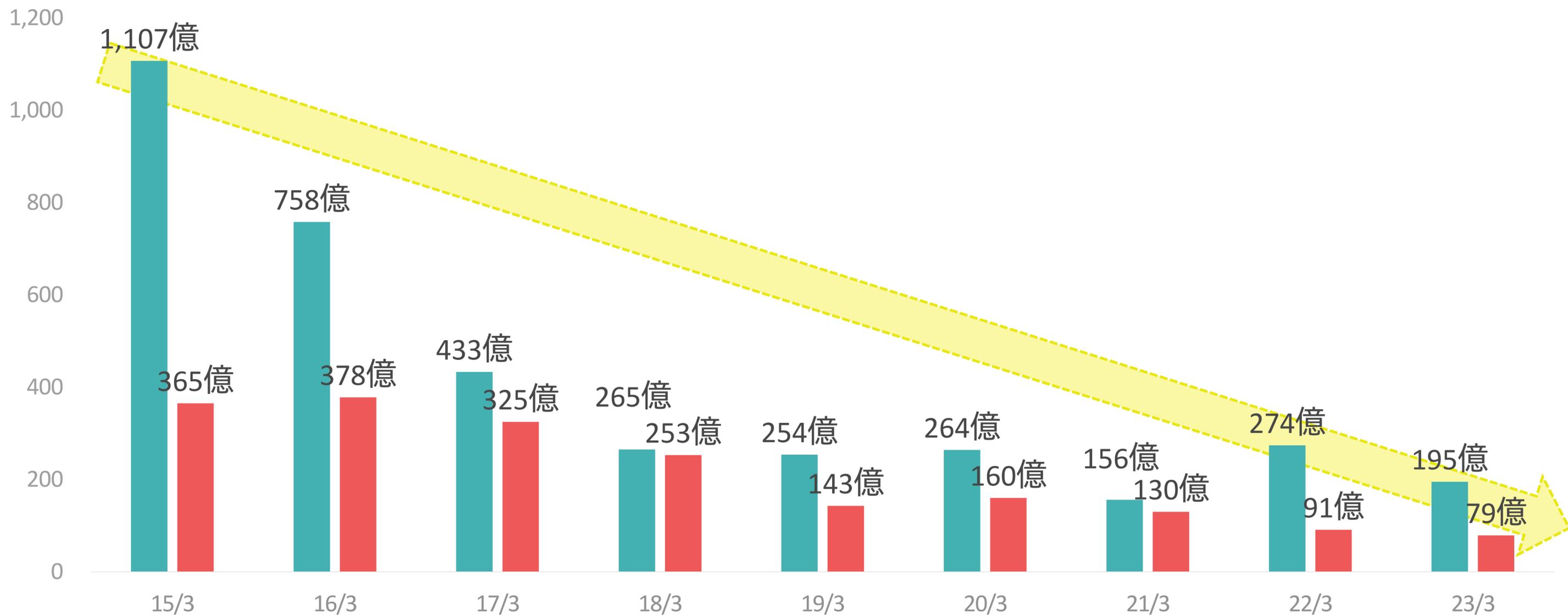


利息返還金と期末引当金残高の推移(連結)

- 利息返還請求の減少とともに取崩額も減少し、引当金取崩額は79億円、期末引当金残高は195億円

単位：億円

■ 期末引当金 ■ 発生額・取崩額

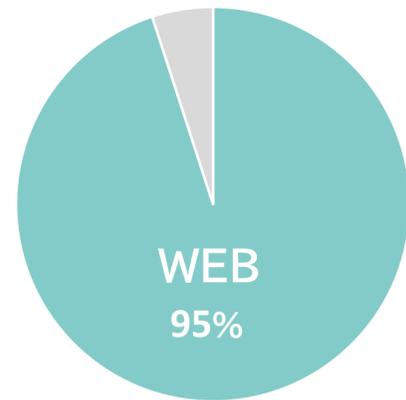


03 アイフルグループの『変化』

変化：デジタル化・内製化の取り組み

営業

■ Web申込が90%を超える



■ 内製化によるアプリ評価の向上

アプリの改修回数

2021年4月
～2022年3月 計 49 回

2022年4月
～2023年3月 計 52 回

	2020年4月	2023年3月
iOS	★★★☆☆ 2.7	★★★★★ 4.6
Android	★★★★☆ 3.7	★★★★★ 4.6

回収

■ 人員数(処理必要人員数)

2019年3月比
2023年3月時点

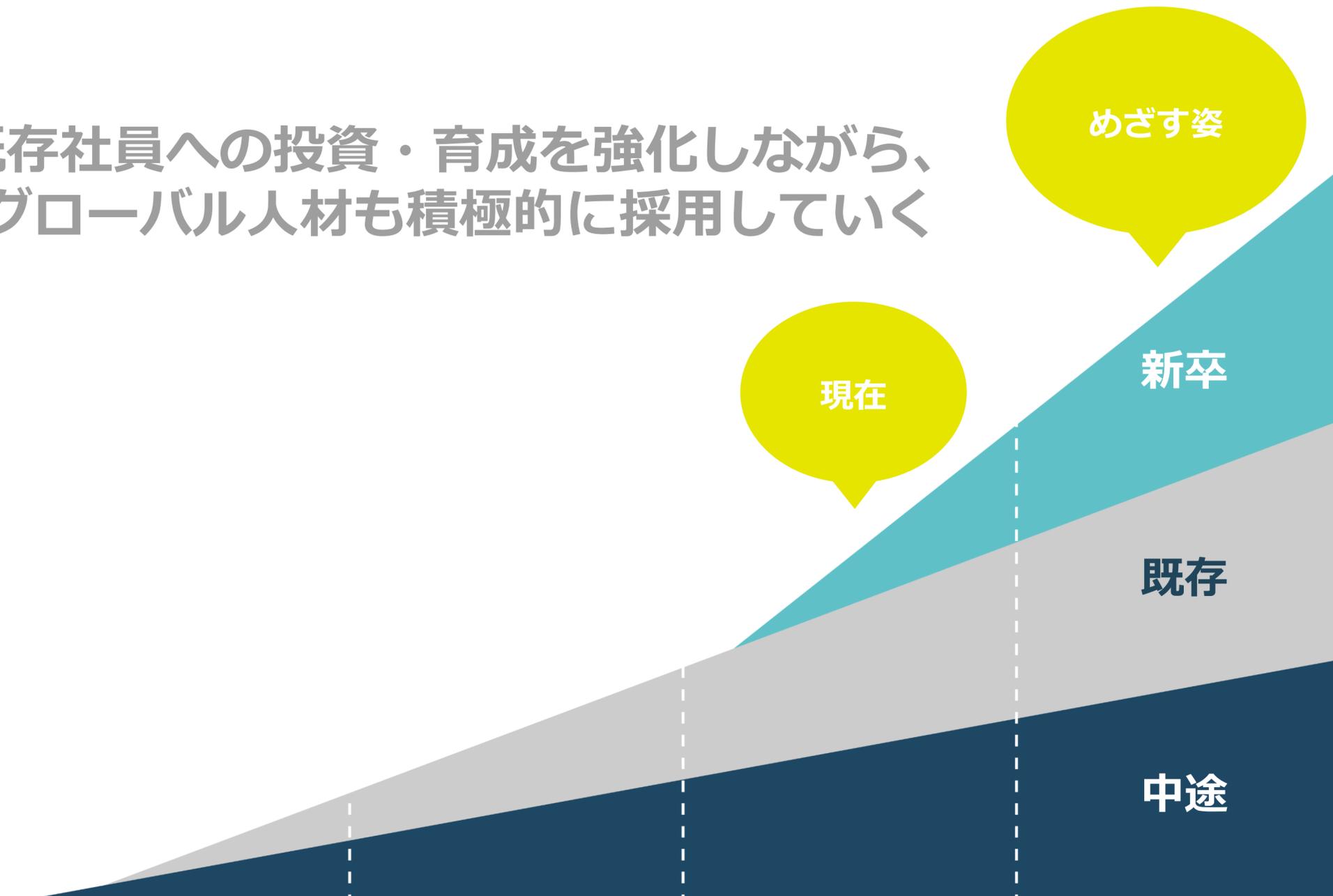
35% 減少

- ✓2014年より導入しているIVR(自動音声架電システム)の改修を内製化
- ✓回収スコアリングの導入により、回収難度に基づくランク分類を実施 IVR・SMS(ショートメッセージサービス)・Eメールと複合させた回収を行い、人員数を削減

変化:IT人材戦略

IT金融グループを目指して

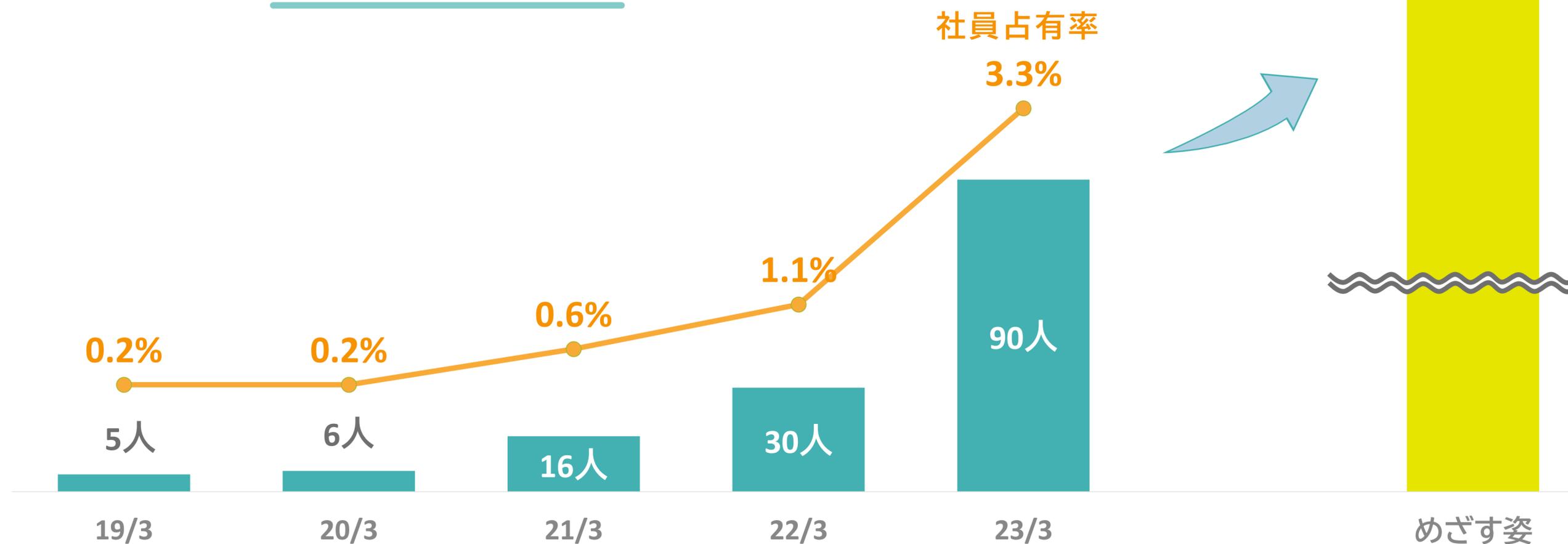
中途採用や既存社員への投資・育成を強化しながら、
新卒社員・グローバル人材も積極的に採用していく



変化:IT人材戦略

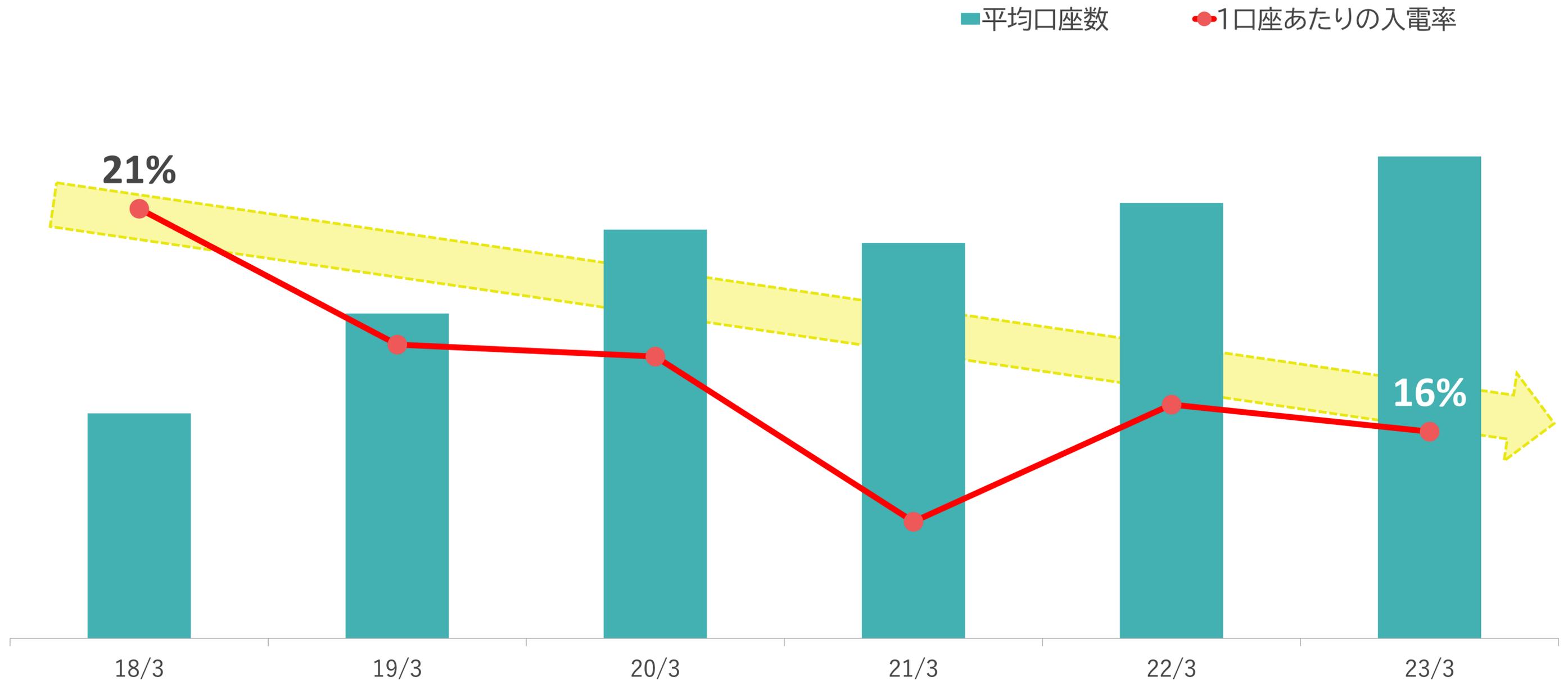
IT金融グループを目指して

エンジニアは全社員の25%を目指す



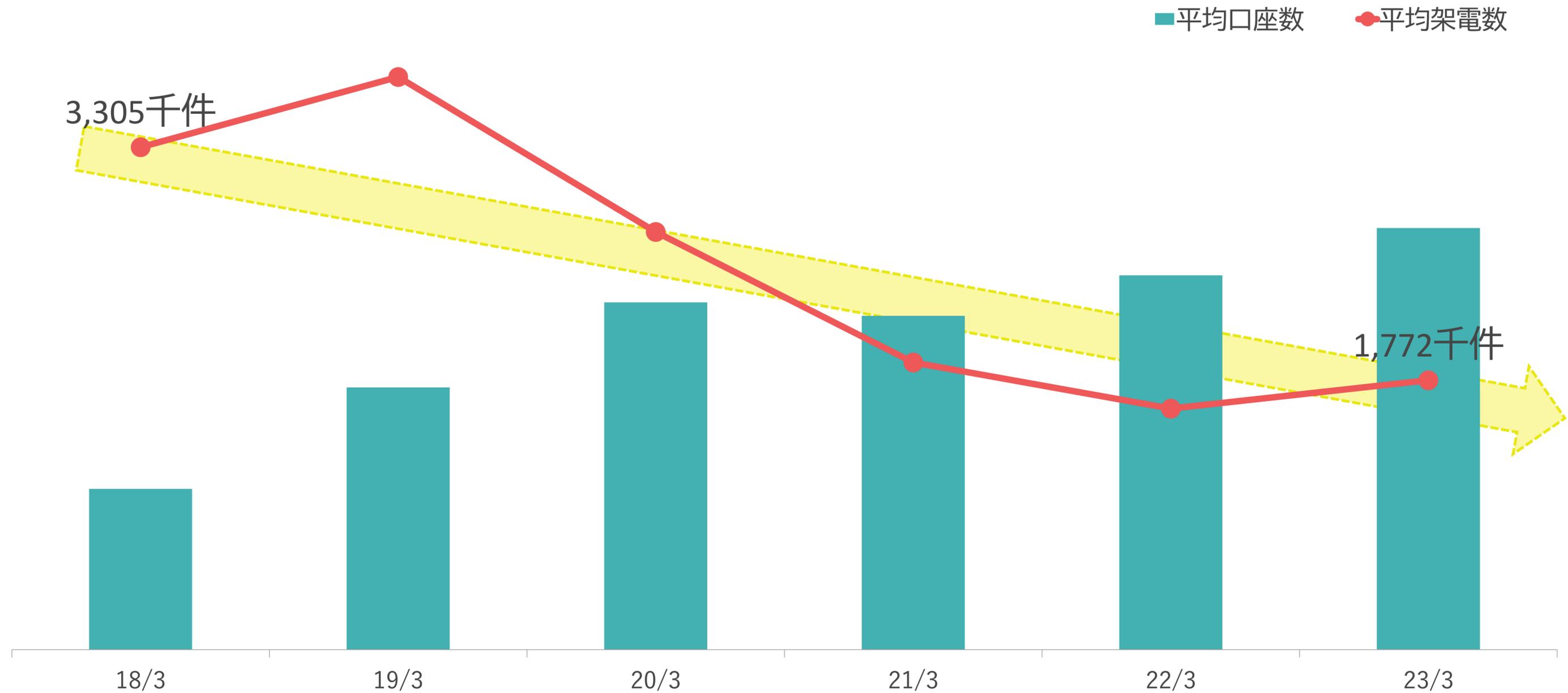
IT化推進による効果(アイフル営業部門)

- IT化施策により、口座数の増加に対し入電率は低下



IT化推進による効果(アイフル回収部門)

- 効果・効率化に向けたIT化推進により、口座数の増加に対し架電数は減少



※ アイフルのコンタクトセンターにおける実績

04 アイフル決算概況

営業実績

単位:百万円	22/3	23/3	前期比 増減額	前期比 増減率
営業債権残高	619,388	691,689	72,300	11.7%
営業貸付金残高	461,884	502,874	40,990	8.9%
無担保ローン	449,747	490,096	40,348	9.0%
有担保ローン	3,501	2,502	-998	-28.5%
事業者ローン	8,635	10,275	1,640	19.0%
信用保証残高	147,708	176,821	29,113	19.7%
新規顧客数（件）	210,104	301,262	91,158	43.4%
無担保ローン	210,014	301,183	91,169	43.4%
口座数（千件）	980	1,115	134	13.8%
無担保ローン	968	1,103	134	13.9%
貸付量	205,540	235,057	29,517	14.4%
新規顧客	35,398	44,394	8,996	25.4%
既存顧客	170,143	190,661	20,518	12.1%
営業貸付金利回り	14.4%	14.3%	-0.1pt	—
無担保ローン18%以下残高占有率	99.3%	99.5%	0.2pt	—
貸倒発生額	20,521	21,795	1,273	6.2%
利息返還に係る貸倒以外の貸倒額	19,797	21,200	1,403	7.1%
貸倒償却率	3.3%	3.2%	-0.1pt	—
利息返還に係る貸倒以外の貸倒率	3.2%	3.1%	-0.1pt	—

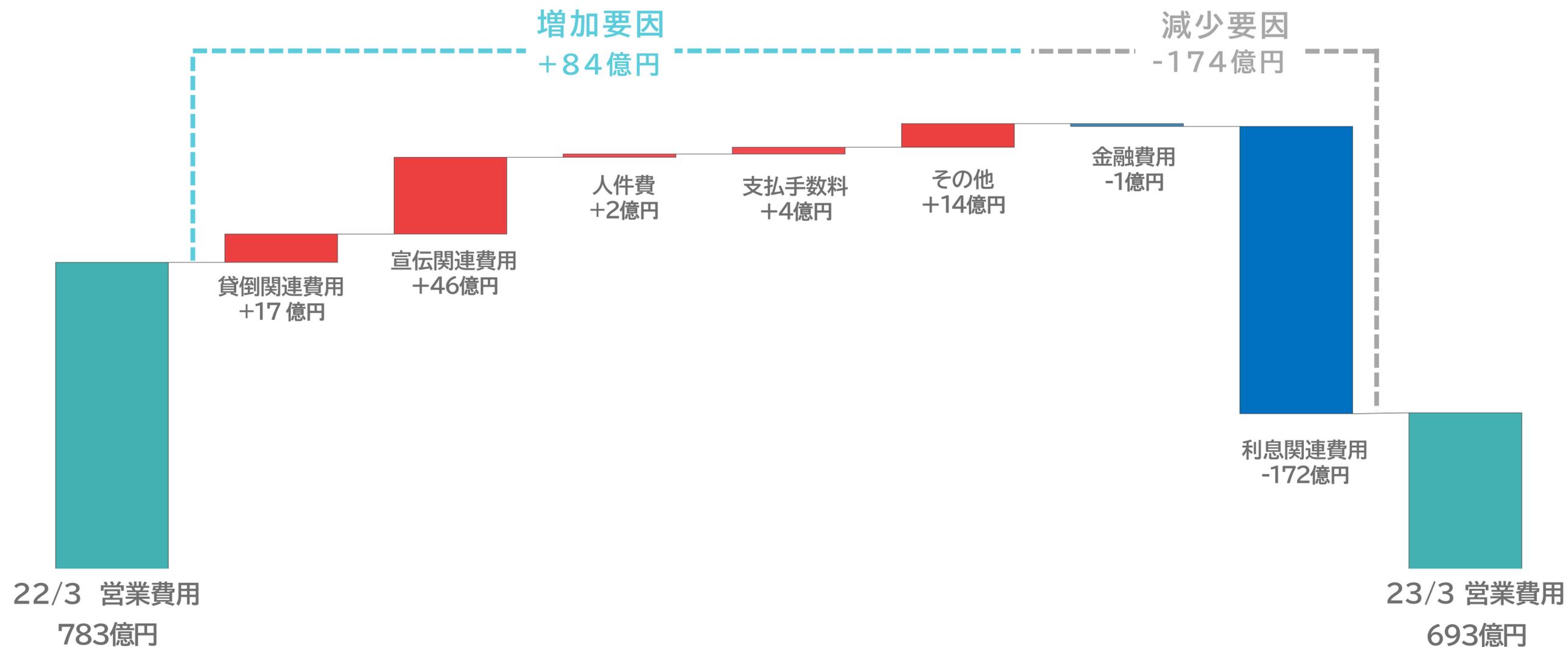
決算概要

単位:百万円	22/3	23/3	前期比 増減額	前期比 増減率
営業収益	83,117	88,449	5,332	6.4%
営業貸付金利息	63,071	67,596	4,524	7.2%
信用保証収益	11,447	12,447	999	8.7%
営業費用	78,359	69,322	-9,037	-11.5%
金融費用	5,421	5,245	-176	-3.2%
貸倒関連費用	20,701	22,406	1,704	8.2%
利息返還関連費用	17,283	-	-17,283	-
宣伝関連費用	9,979	14,596	4,616	46.3%
広告宣伝費	9,644	14,097	4,453	46.2%
販売促進費	335	498	163	48.6%
人件費	9,504	9,723	218	2.3%
その他費用	15,469	17,351	1,882	12.2%
営業利益	4,757	19,127	14,370	302.1%
営業外収益	2,014	13,100	11,086	550.4%
営業外費用	23	15	-8	-34.9%
経常利益	6,748	32,213	25,465	377.4%
特別利益	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-
当期純利益	7,912	31,028	23,116	292.2%

決算概要/営業費用の分解

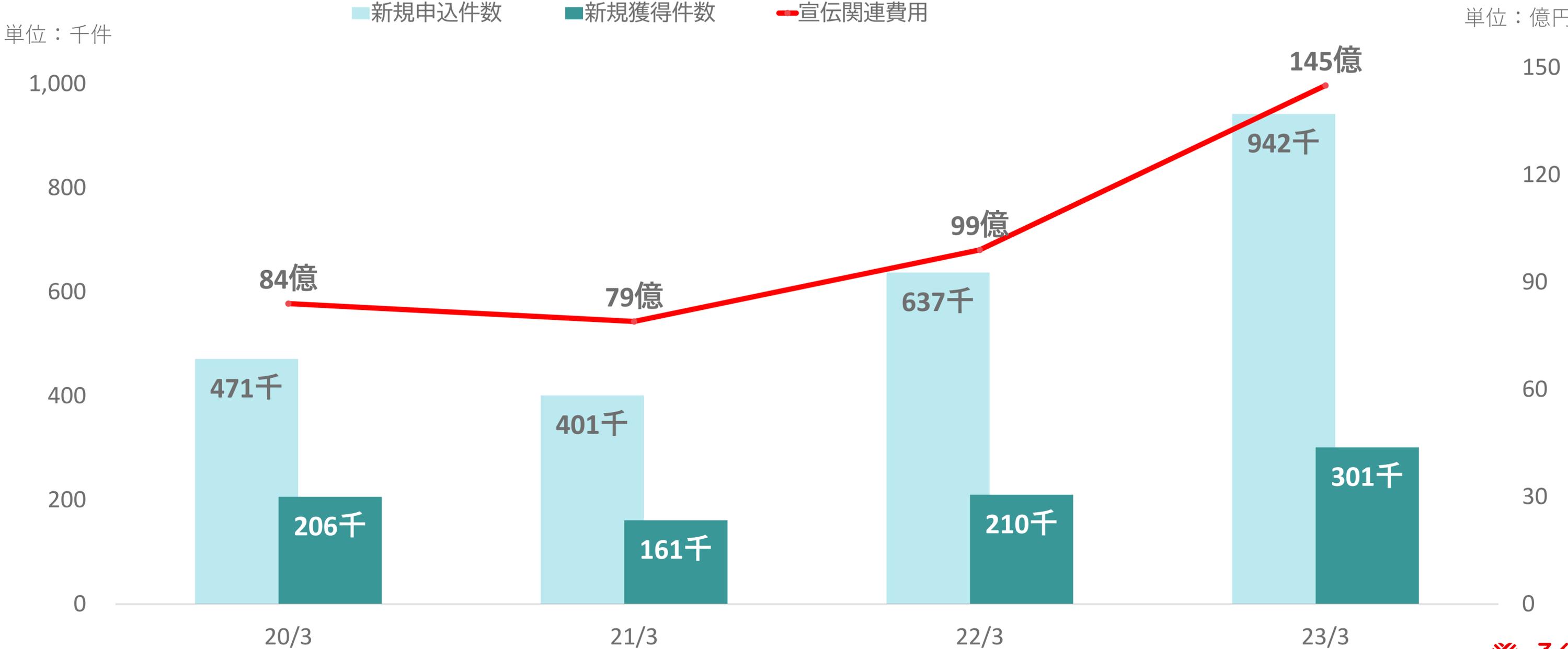
- 新規獲得件数の増加に向けた宣伝関連費用の積極投下および営業債権残高の成長に伴い貸倒関連費用が増加

営業費用の増減要因



ローン事業/宣伝関連費用と新規獲得の相関

- 将来に向けた積極的な費用投下により、新規獲得件数は前期比43.4%増の30.1万件、CPAは前期比1.1%減の45千円



LTV/CPA

LTV = 顧客生涯利益(顧客の利用期間に応じて生じる生涯利益、広告宣伝費を除き算出)

CPA = 一顧客当たりの獲得単価

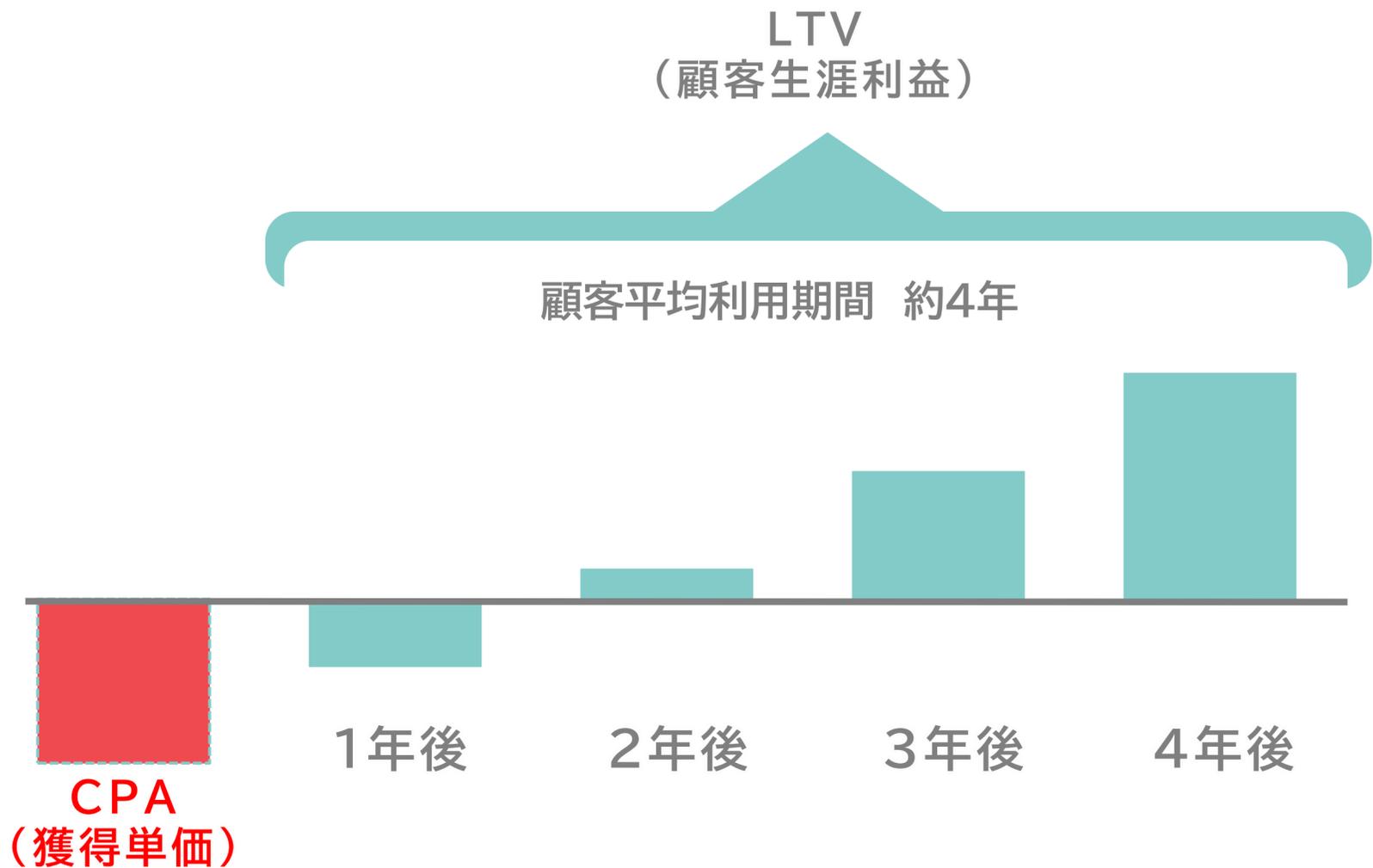
アイフル(無担保ローン)

CPA控除後のLTV

9.4万円

13.9万
円

4.5万円

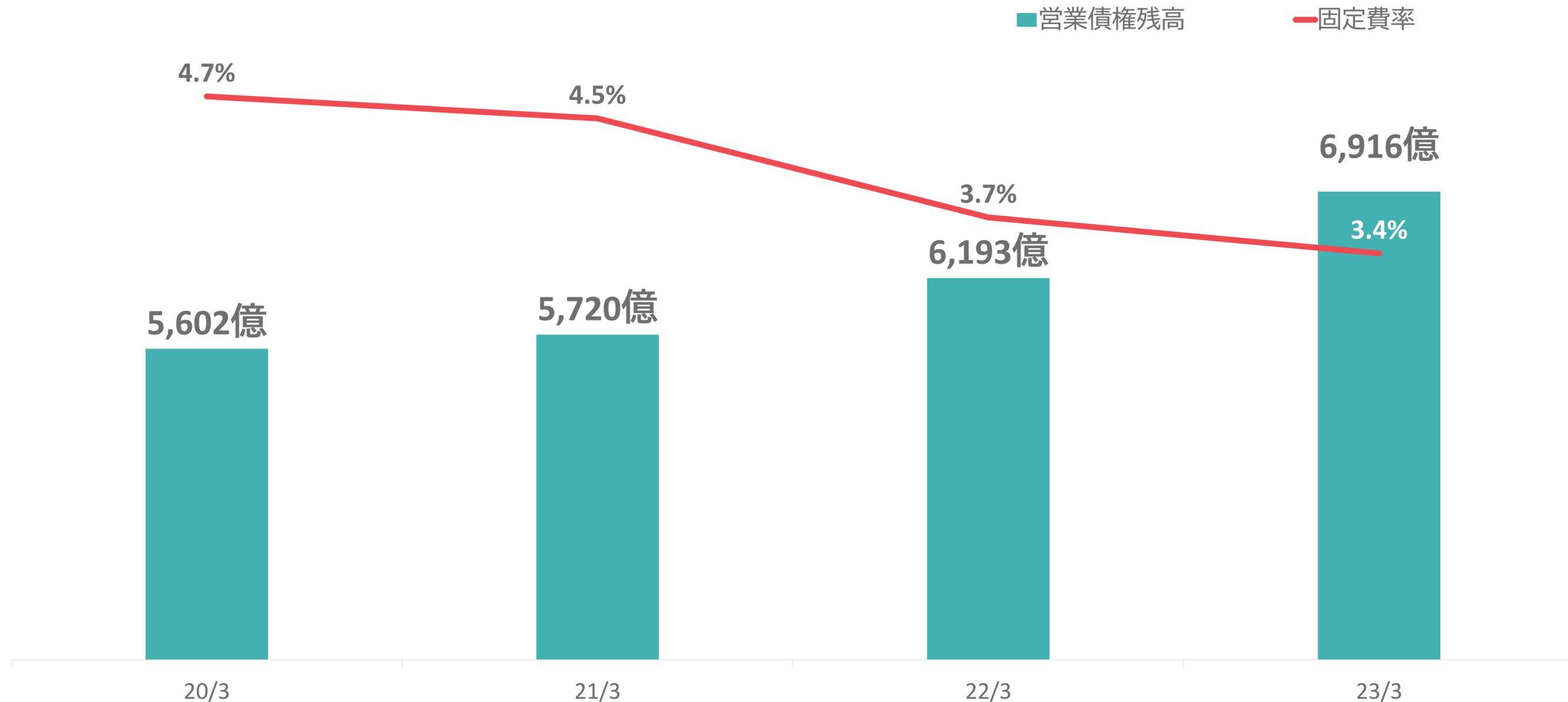


※CPAは新規獲得件数をベースに算出

※LTV:キャッシングローンからおまとめMAX・事業者ローンに移行した顧客も含めた定義にて算出
(23/3 2QはキャッシングローンのみのLTV)

営業債権残高と固定費の推移

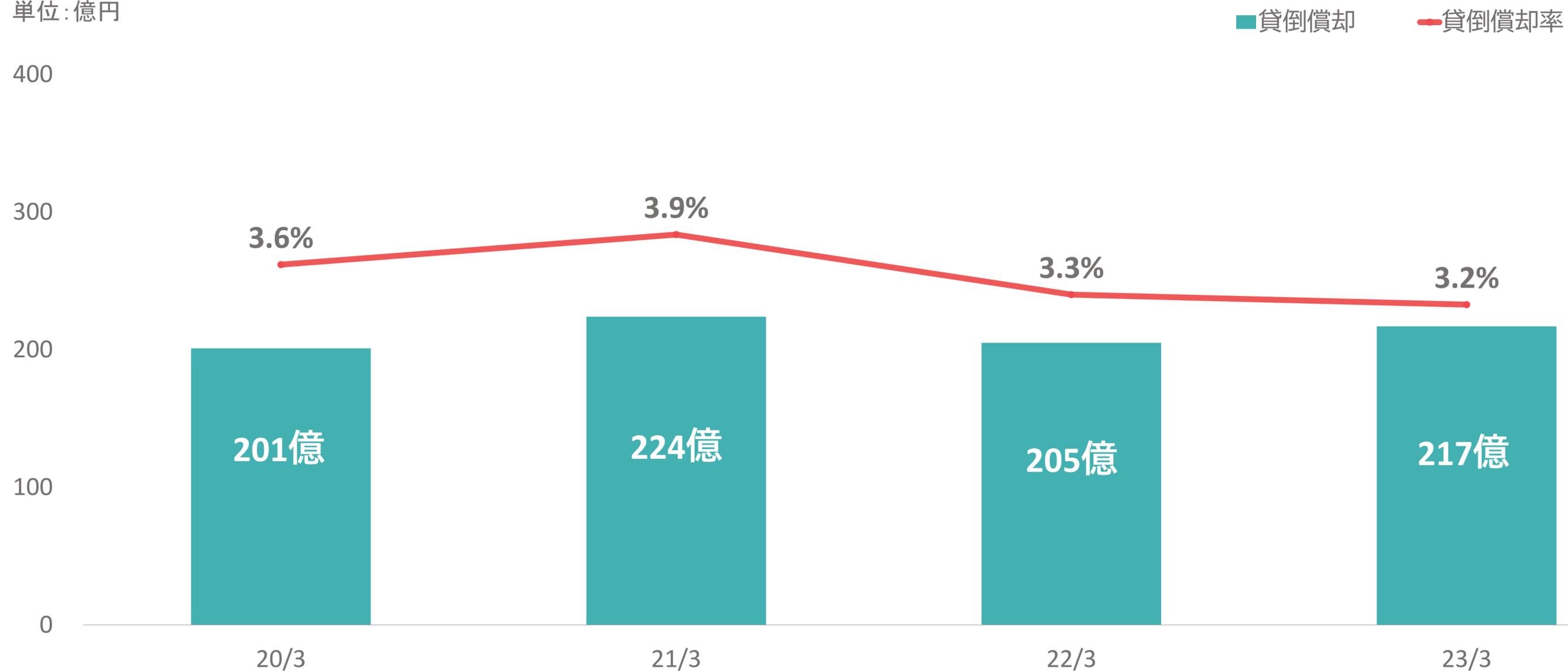
- 堅調な新規顧客の獲得により営業債権残高は伸長の一方で、DXや内製化等の取組みにより固定費率は前期比0.3pt減の3.4%



不良債権/貸倒償却

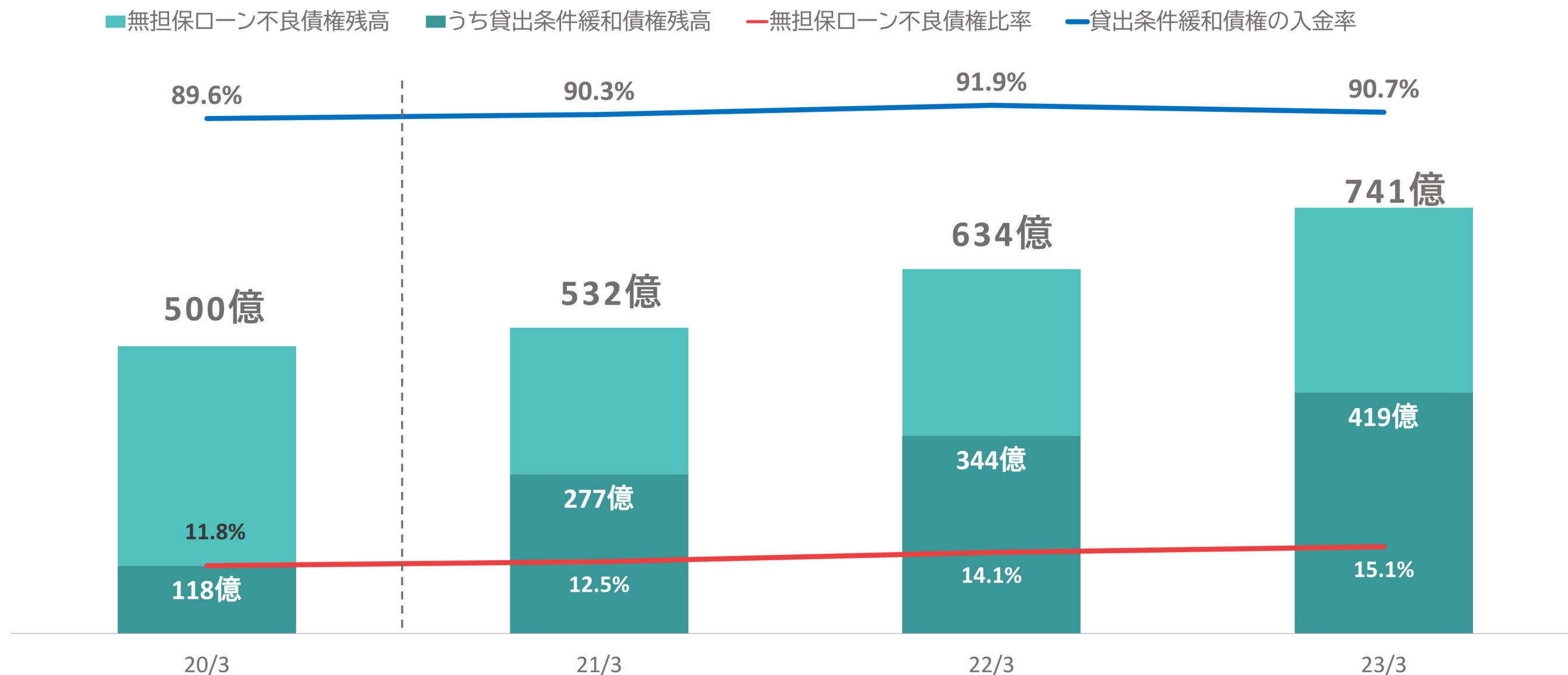
- 貸倒償却は前期比6.2%増の217億円となった一方で、償却率は前期比0.1pt減の3.2%と低位安定

単位: 億円



不良債権/無担保ローン不良債権

- 和解債権(貸出条件緩和債権)の増加を主要因として、無担保ローン不良債権比率は1.0pt増の15.1%となった



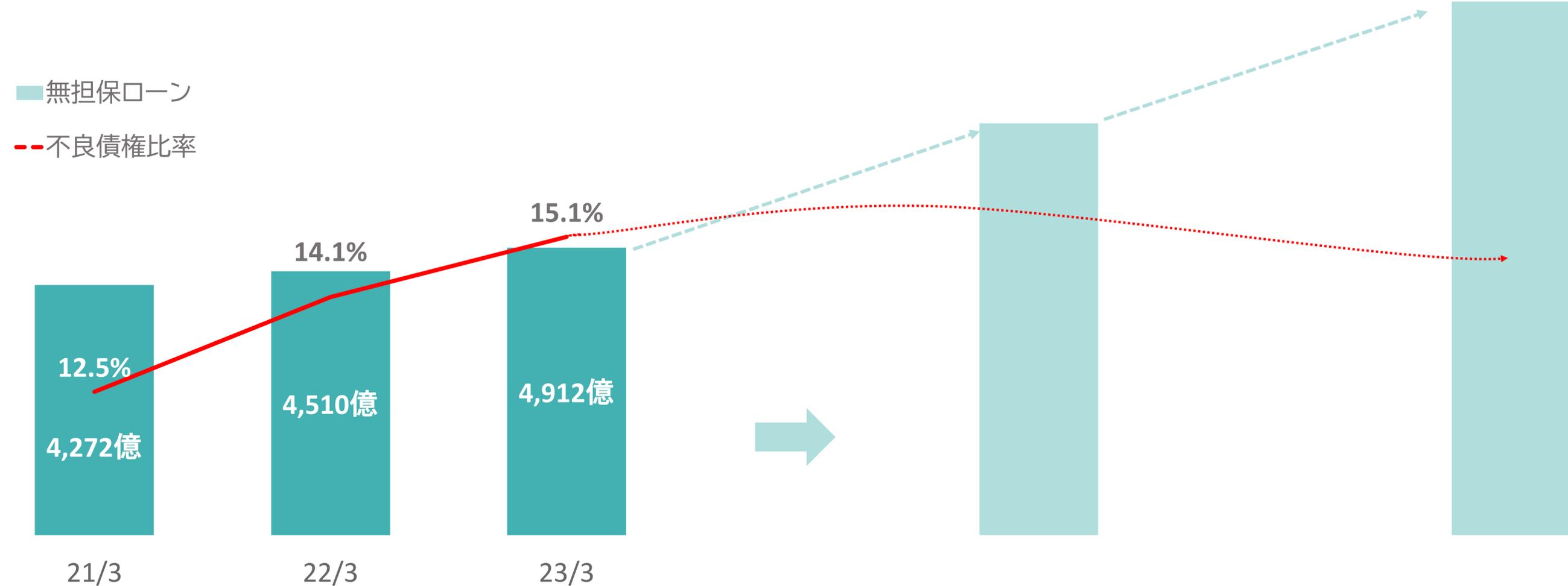
※1 2021年3月期第4四半期より、「延滞債権」に含めていた「定期的に入金がある和解債権」を、より実態に即した「貸出条件緩和債権」に含む

※2 2022年3月31日に「特定金融会社等の会計の整理に関する内閣府令」の「不良債権に関する注記」が改正されたため、同府令の改正後の区分等により表示

不良債権/無担保ローン成長と不良債権比率の推移

- 無担保ローンの増加ペースが不良債権を上回っていくため、不良債権比率は3～4年後を目安にピークアウトする見通し

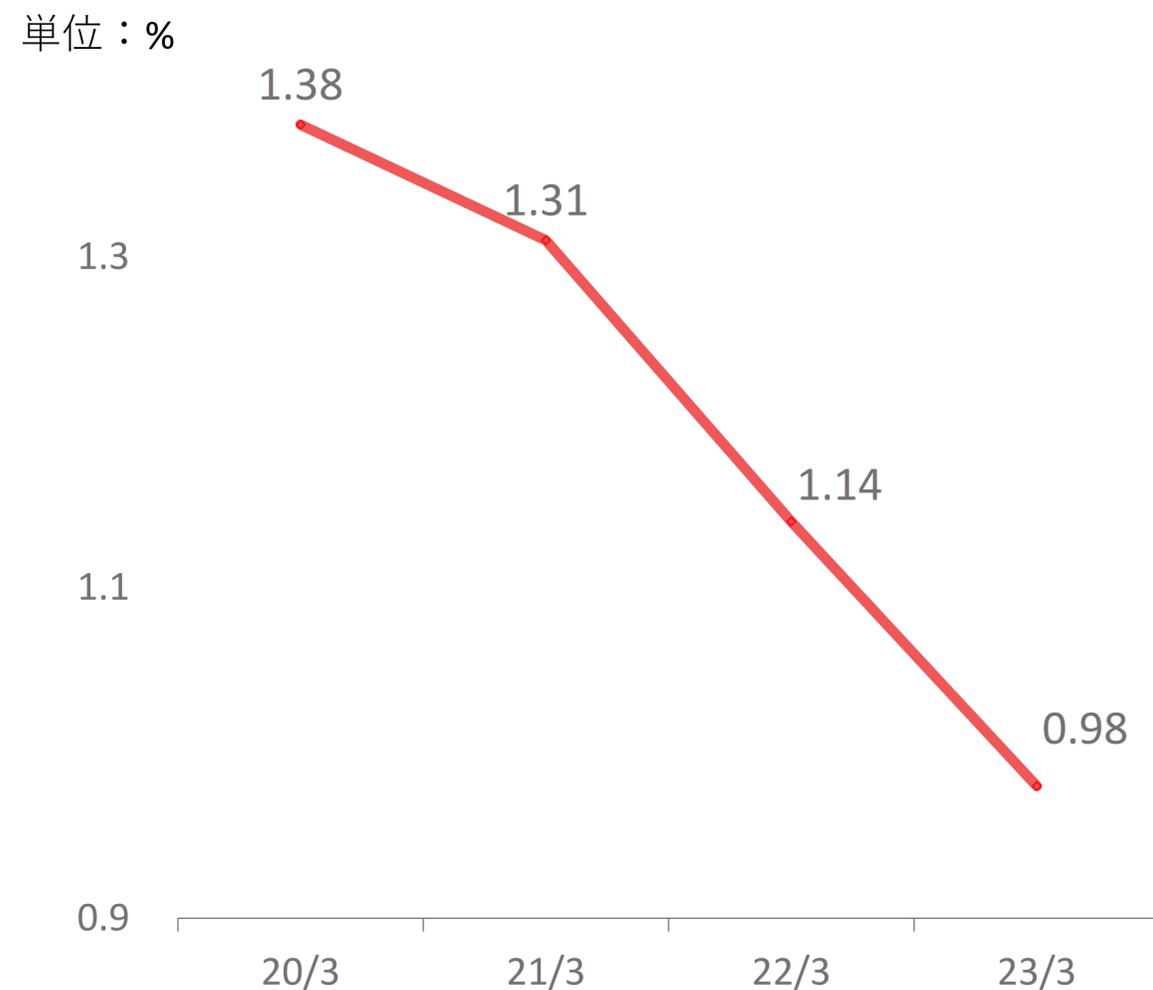
無担保ローン成長と不良債権比率の推移



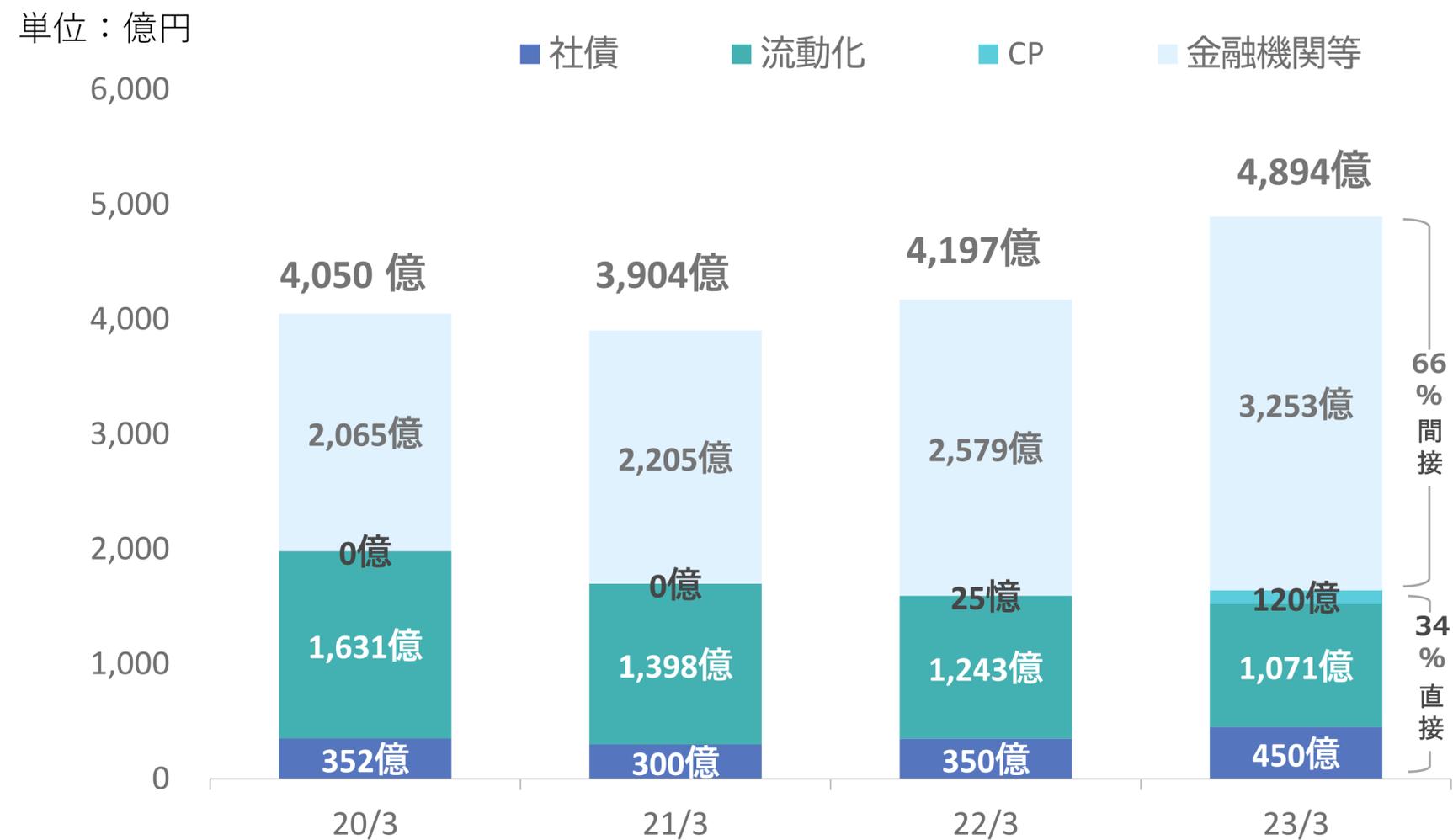
資金調達

- 2022年11月に外部格付け(JCR)が「BBB+/ポジティブ」に1ノッチアップ、調達金利は引き続き低下傾向

調達金利



調達金額



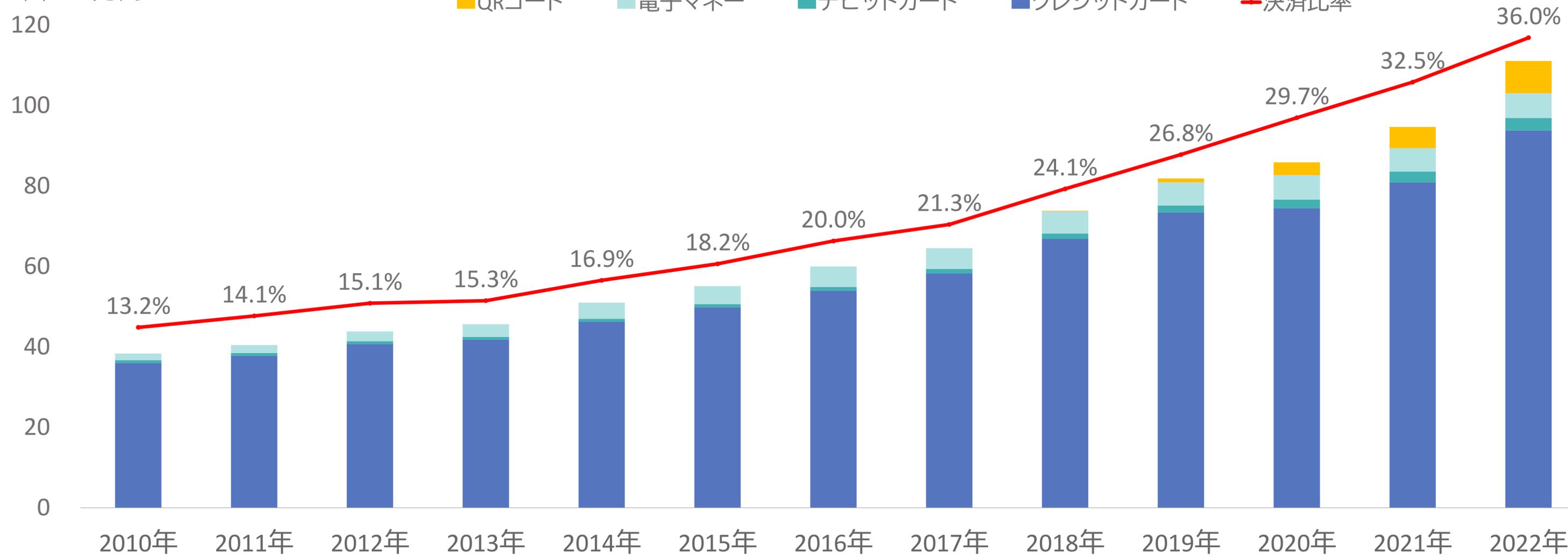
05 ライフカード決算概況

キャッシュレス市場

- 2022年のキャッシュレス決済比率は36.0%と順調に推移、経済産業省は2025年までに4割程度、将来的には世界最高水準の80%まで上昇させる方針を提示

キャッシュレス決済額及び決済比率の推移

単位：兆円



営業実績

単位:百万円	22/3	23/3	前期比 増減額	前期比 増減率
営業債権残高	164,114	170,476	6,362	3.9%
営業貸付金残高	32,916	32,384	-532	-1.6%
キャッシング	23,621	23,289	-332	-1.4%
割賦売掛金残高	101,814	107,220	5,405	5.3%
リボ・分割	51,525	52,024	498	1.0%
信用保証残高	27,951	29,022	1,071	3.8%
新規発行数 (千枚)	382	478	96	25.1%
プロパーカード	92	159	67	72.3%
提携カード	289	318	28	10.0%
有効会員数(千人)	5,240	5,141	-98	-1.9%
プロパーカード	1,376	1,376	-0	-0.0%
提携カード	3,864	3,765	-98	-2.6%
貸倒発生額	3,448	3,544	95	2.8%
利息返還に係る貸倒以外の貸倒額	3,306	3,401	94	2.9%
貸倒償却率	2.1%	2.1%	-0.0pt	-
利息返還に係る貸倒以外の貸倒率	2.0%	2.0%	-0.0pt	-

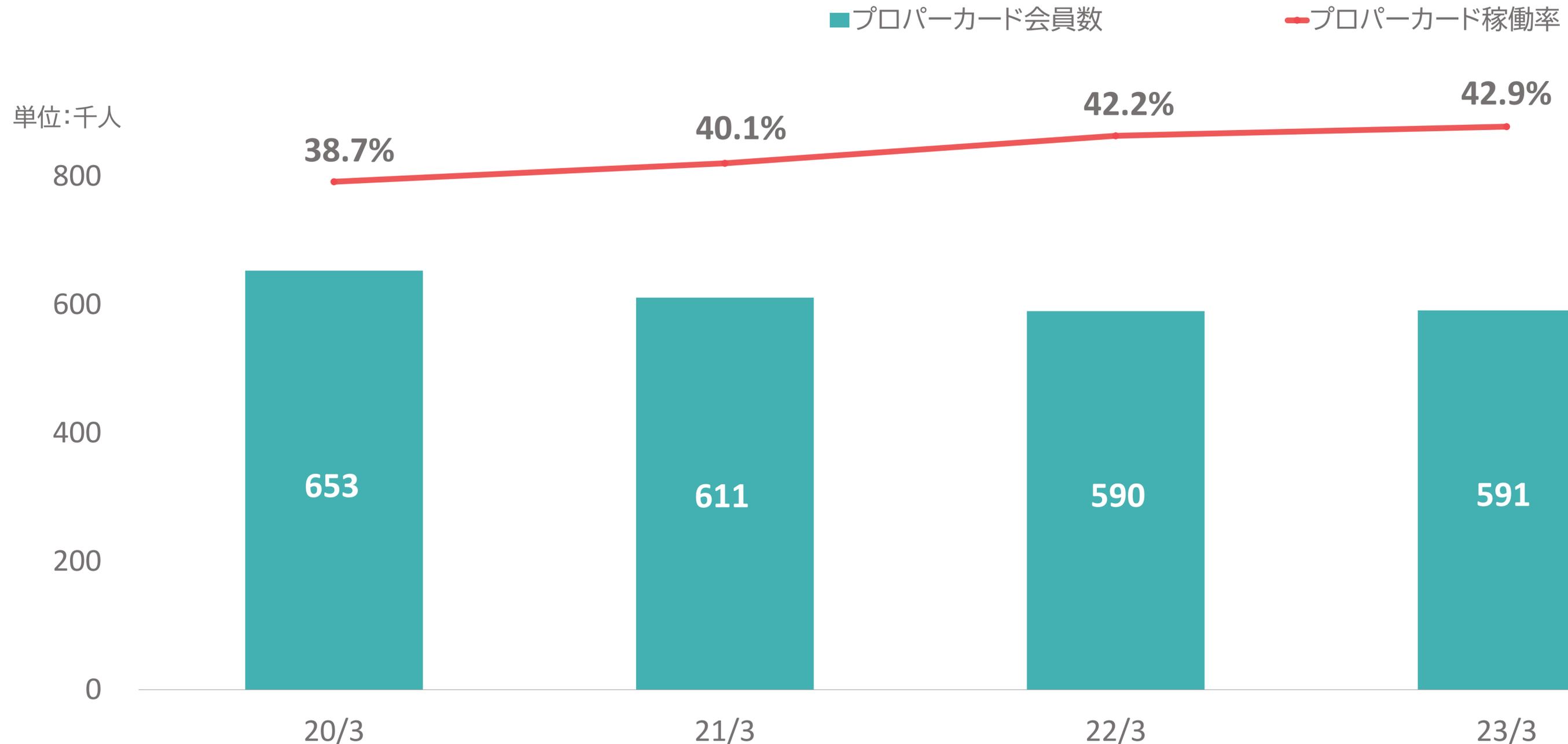
決算概要

単位:百万円	22/3 ※	23/3	前期比 増減額	前期比 増減率
営業収益	33,721	35,711	1,989	5.9%
信用購入あっせん収益	18,993	20,440	1,446	7.6%
営業貸付金利息	4,066	3,653	-412	-10.2%
信用保証収益	1,754	1,842	87	5.0%
その他収益	8,906	9,774	867	9.7%
営業費用	32,281	34,414	2,133	6.6%
金融費用	1,161	1,111	-50	-4.3%
貸倒関連費用	2,745	4,530	1,784	65.0%
利息返還関連費用	2,645	-	-2,645	-
広告宣伝費	1,141	2,029	888	77.8%
販売促進費	2,874	3,232	358	12.5%
人件費	4,821	5,006	185	3.8%
その他費用	16,890	18,504	1,613	9.6%
営業利益	1,440	1,296	-144	-10.0%
経常利益	1,634	1,419	-215	-13.2%
当期純利益	1,585	911	-674	-42.5%

※ 2022年3月期の数値は、2022年4月1日にライフカードが吸収合併したすみしんライフカードの実績を含む

プロパーカード稼働会員数・稼働率

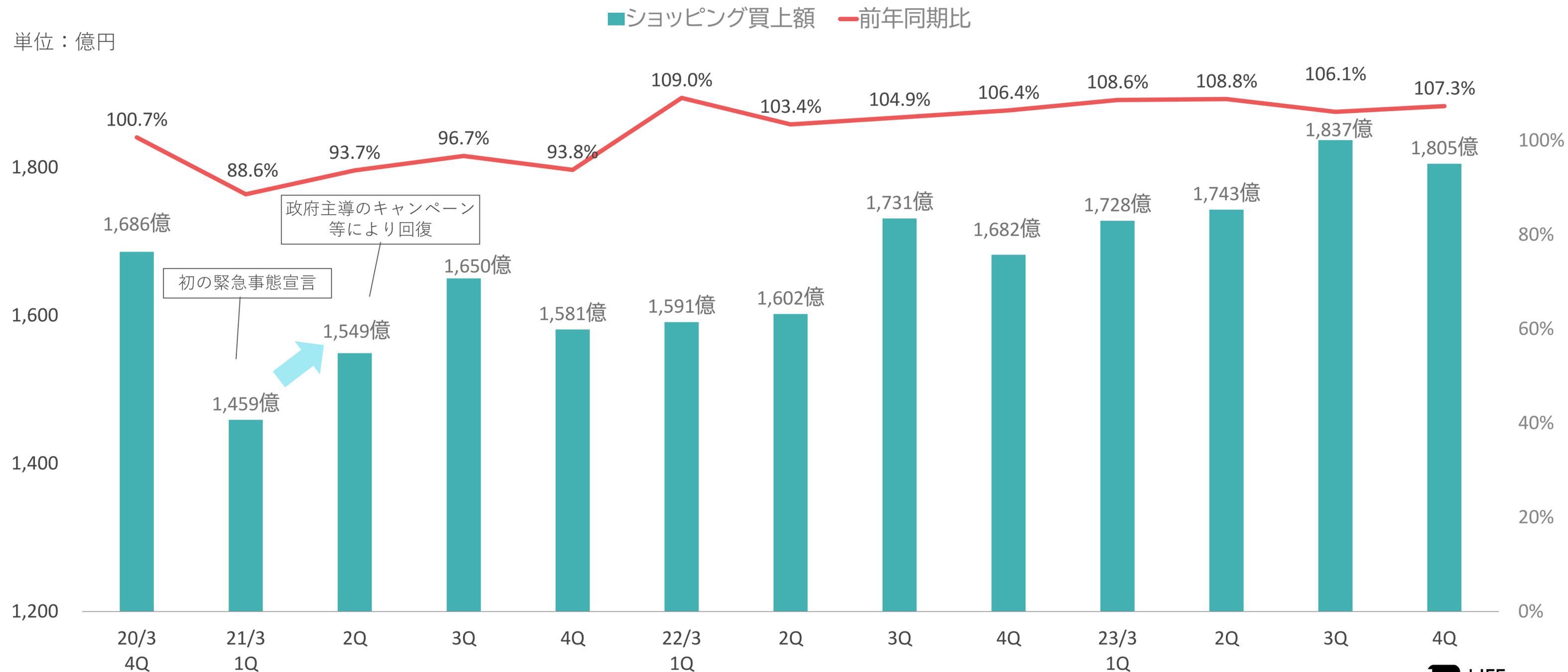
- 稼働重視の獲得手法の推進や、WEBサイト及びスマホアプリのリニューアルにより稼働率は42.9%に上昇



※ 稼働会員数は月ごとの稼働会員の平均値

四半期毎 買上額推移

- 旅行などレジャーにおけるカード利用が増加したことにより、ショッピング買上は堅調に推移



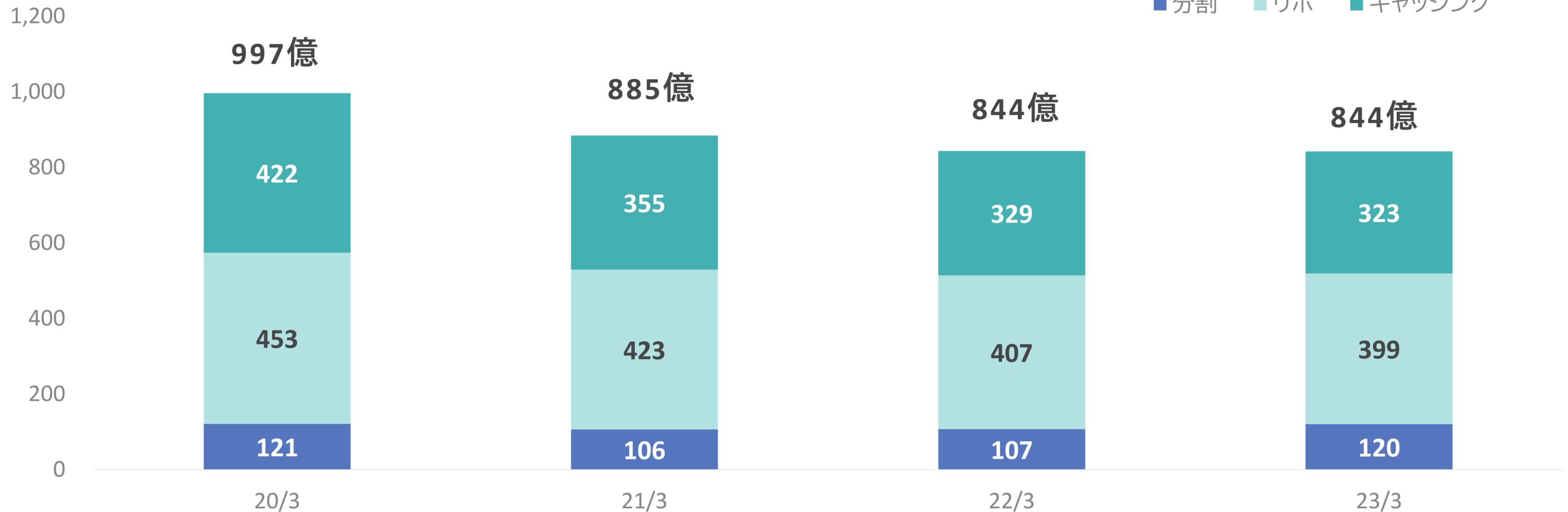
リボ・分割・キャッシング残高推移

- リボ残高は微減も、買上額増加に伴い、分割は前期比12.0%増の120億円となった

単位：億円

残高推移（営業債権ベース）

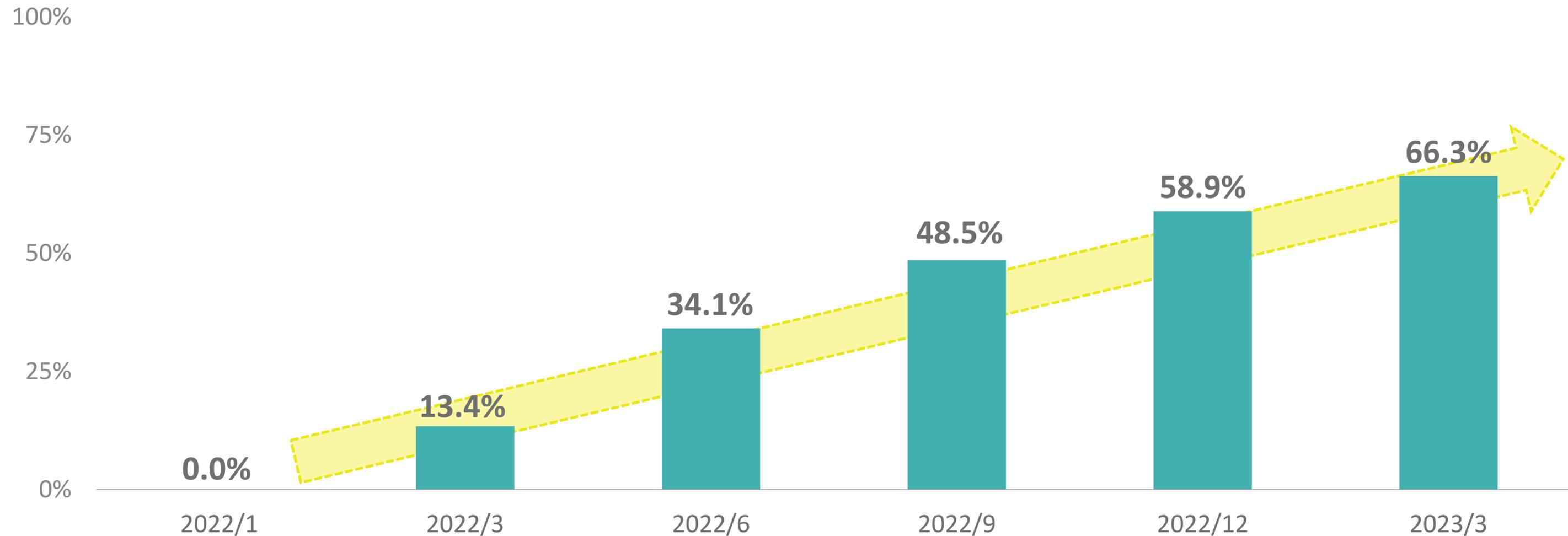
■ 分割 ■ リボ ■ キャッシング



リボ・分割払いの利回り

- ショッピング残高の利回りは上昇トレンドを維持、2022年度におけるリボ・分割払いの利回りは14.6%

リボ・分割払い18%年率の占有率



※ 2022年2月1日以降の利用分から実質年率18%に順次引上げ

広告再開とアプリ利用者

ライフカードで16年ぶりに広告展開



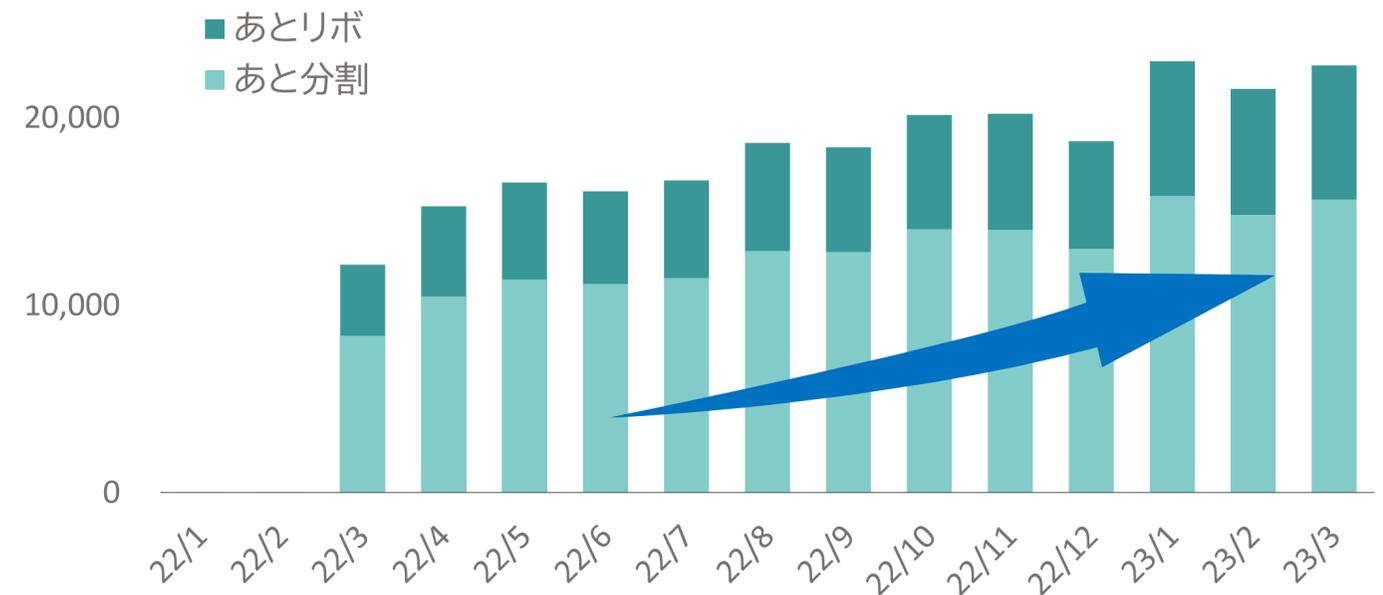
若年層とライフカードの接点を構築していく
ブランディング活動を2023年1月よりスタート

23/3 アプリ累計利用者数

24万人以上 (3Q時点: 約17万人)

単位:千
30,000

アプリを利用したあと分割・あとリボユーザー数



プロパーカードのLTV向上

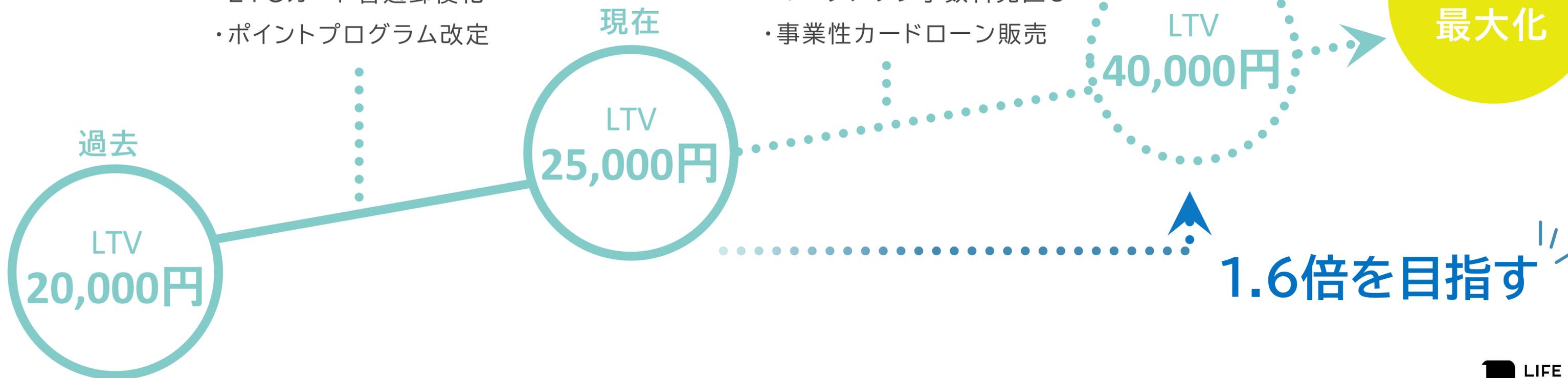
■ 新規顧客獲得の強化

■ 獲得顧客のロイヤル化・取引期間の長期化

LTV向上施策を各種展開中

- ・請求資料有料化
- ・ETCカード普通郵便化
- ・ポイントプログラム改定

- ・リボ・分割手数料引き上げ
- ・カード発券コスト抑制
- ・分割支払い回数の延長
- ・マークアップ手数料見直し
- ・事業性カードローン販売



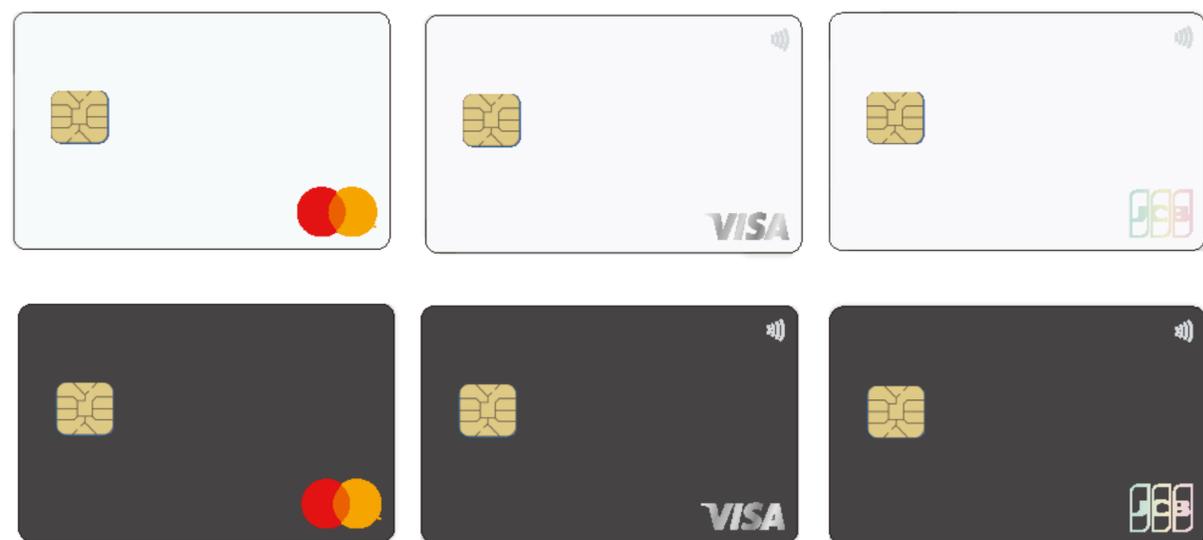
情緒的価値カード

プロパーカード <若者の意気盛んさと輝き>

～輝く若者のパワーで、どの世代にも輝きを。

若きころの気持ちを忘れない。～

カードを真っ白なキャンバスに例え、これから何にでも染まれる・自由な発想や行動へと繋がるように設計しました。



※2023年6月発行開始予定

社会貢献カード

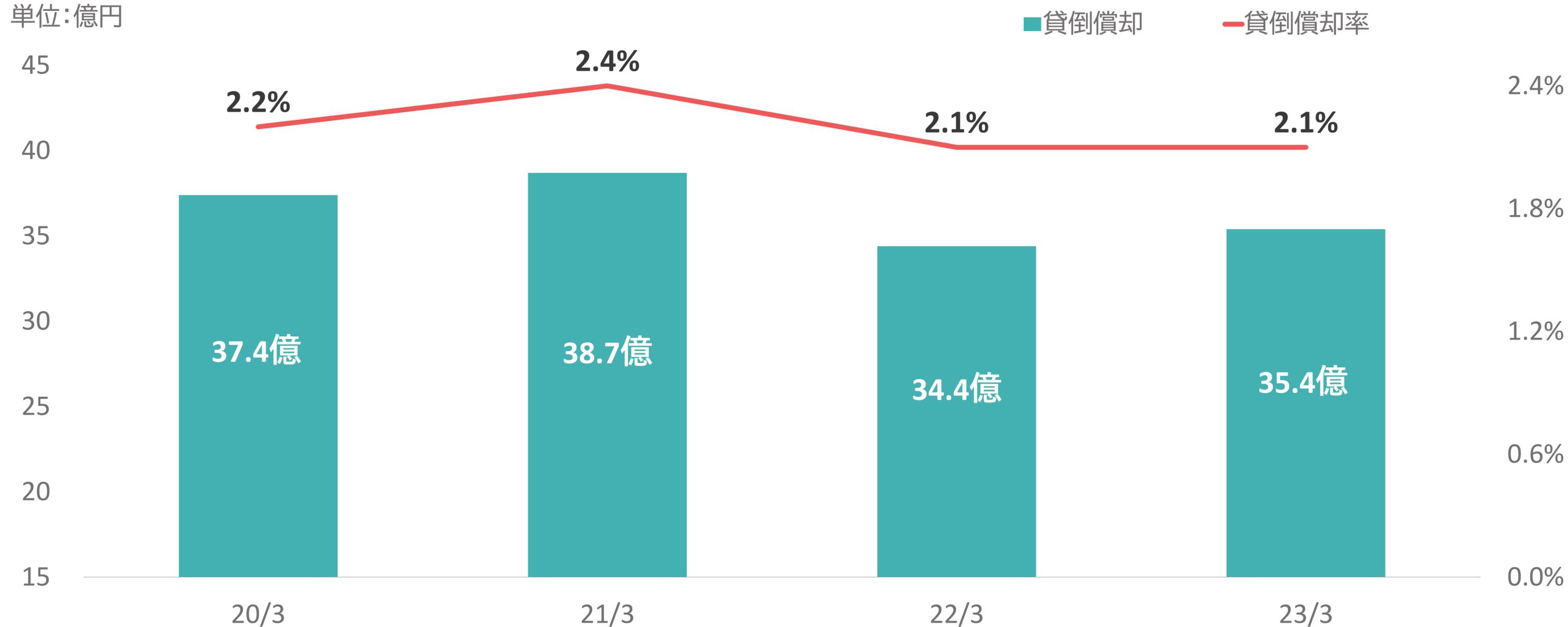
- ✓収益の一部を提携団体やNPO法人に寄付
- ✓会員様による負担は一切なく、利用額に応じて自動的に寄付されるシステム



不良債権/貸倒償却

- 貸倒償却は前期比2.8%増の35.4億円となった一方で、償却率は2.1%と低位安定

単位:億円

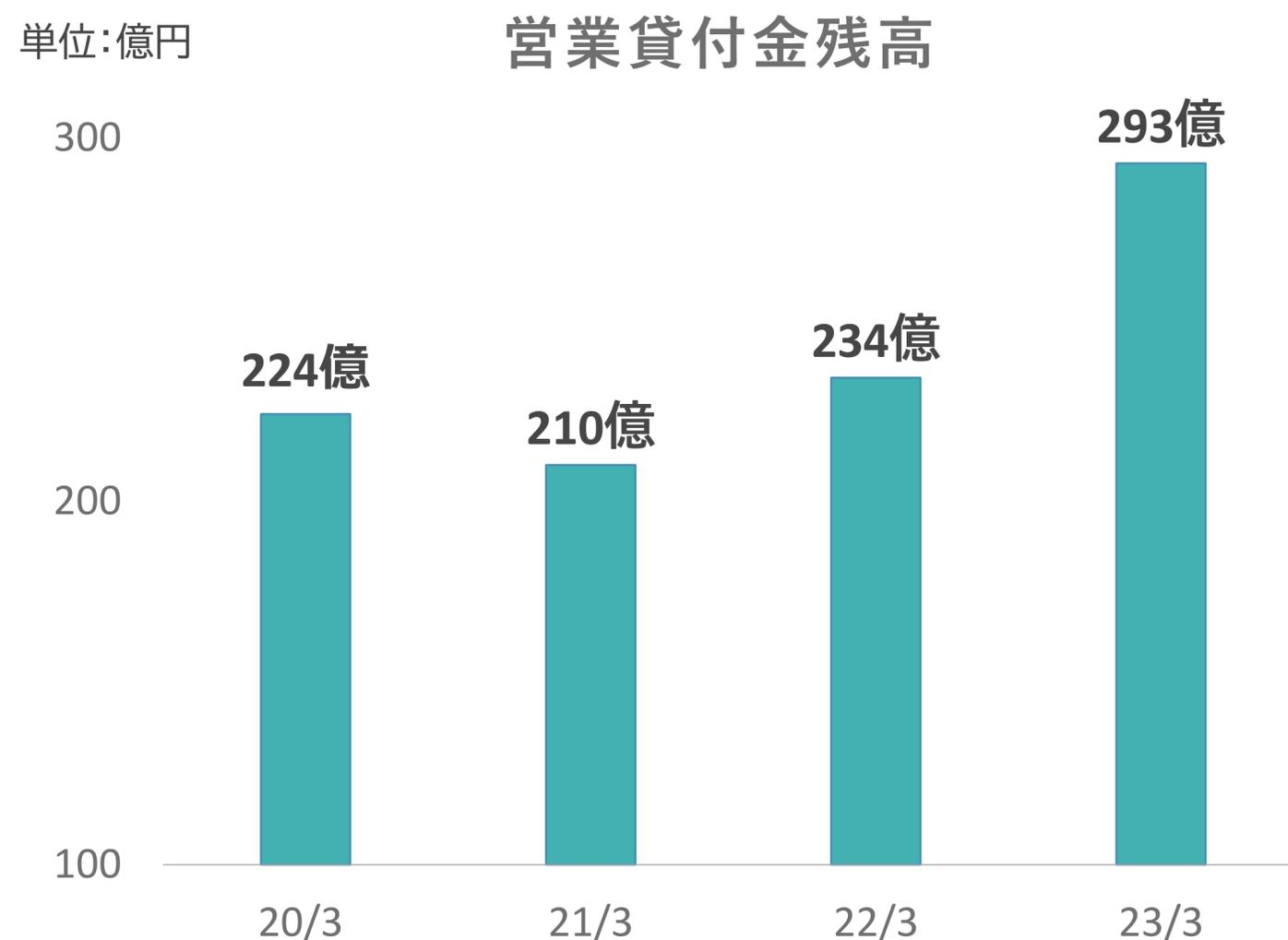


06 グループ各社決算概況

AIRA&AIFUL(タイ王国)

- 好調な新規申込を背景に残高は前期比25.3%増の293億円。経常利益は貸倒関連費用の増額などにより前期比72.4%減の1.2億円

単位:百万円	22/3	23/3	前期比 増減率
営業貸付金残高	23,418	29,343	25.3%
口座数 (千)	330	356	7.9%
貸倒償却率	8.72%	8.04%	-0.68pt
営業収益	5,725	7,080	23.7%
営業利益	461	134	-70.8%
経常利益	463	127	-72.4%
当期純利益	1,037	726	-30.0%



※A&Aは12月期決算のため、通期累計期間は1月～12月

※為替レート(タイバーツ)

B/S:2021年度 3.43円、2022年度 3.80円 P/L:2021年度 3.44円、2022年度 3.75円

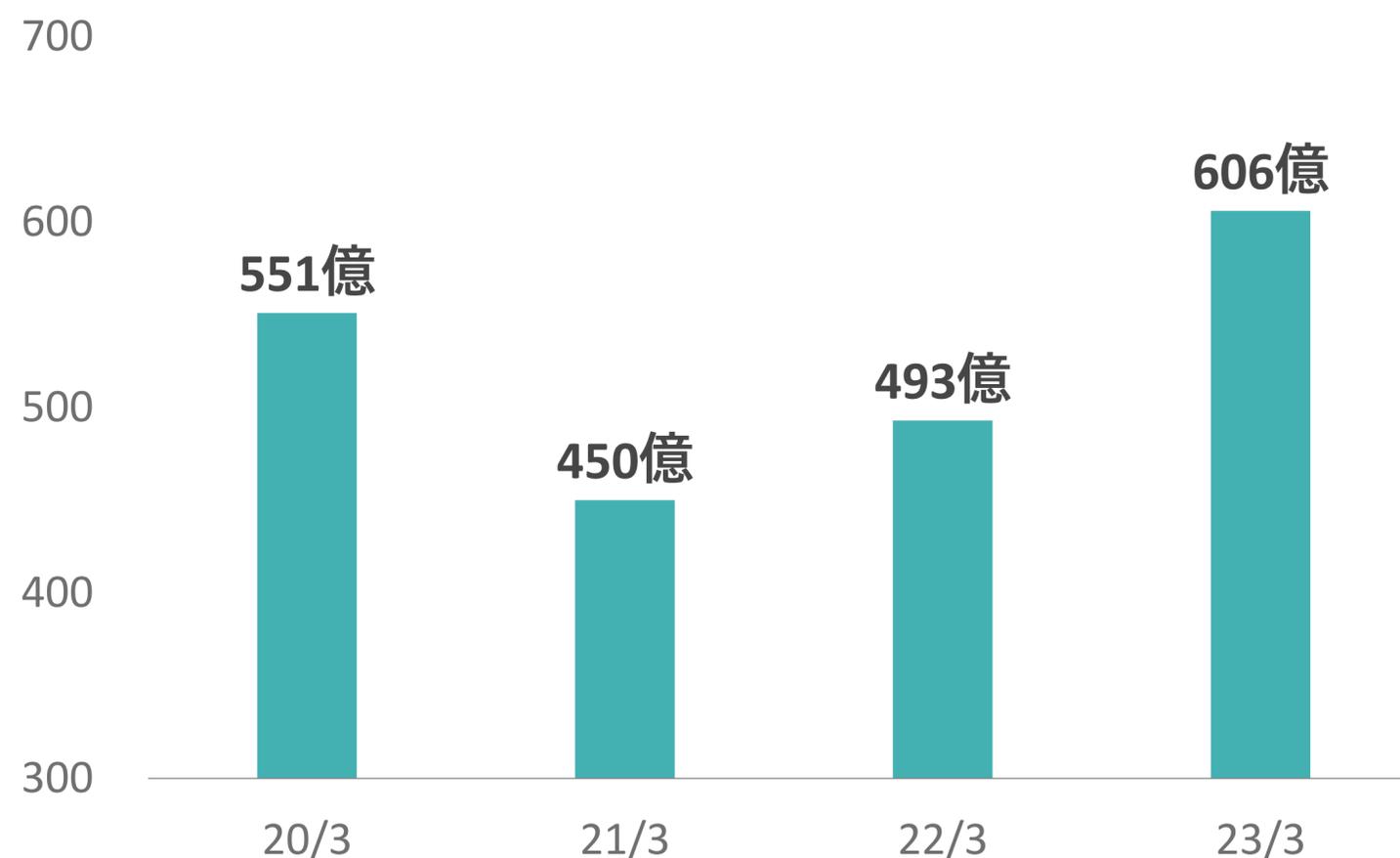
AGビジネスサポート

- 事業者ローン残高は前期比23.0%増、営業利益は貸倒関連費用の増加を主要因として、前期比34.9%減

単位:百万円	22/3	23/3	前期比 増減率
営業貸付金残高	55,928	71,364	27.6%
有担保ローン	6,578	10,681	62.4%
事業者ローン	49,349	60,682	23.0%
口座数 (千)	26	29	14.5%
貸倒償却率	2.99%	2.69%	-0.30pt
営業収益	6,430	7,732	20.2%
営業利益	2,762	1,798	-34.9%
経常利益	2,773	1,808	-34.8%
当期純利益	1,691	1,131	-33.2%

単位:億円

事業者ローン残高推移



※1 診療報酬等担保ローン事業は2021年7月よりAGメディカル株式会社が承継

※2 2023年2月25日よりアイフルビジネスファイナンス株式会社はAGビジネスサポート株式会社に社名変更

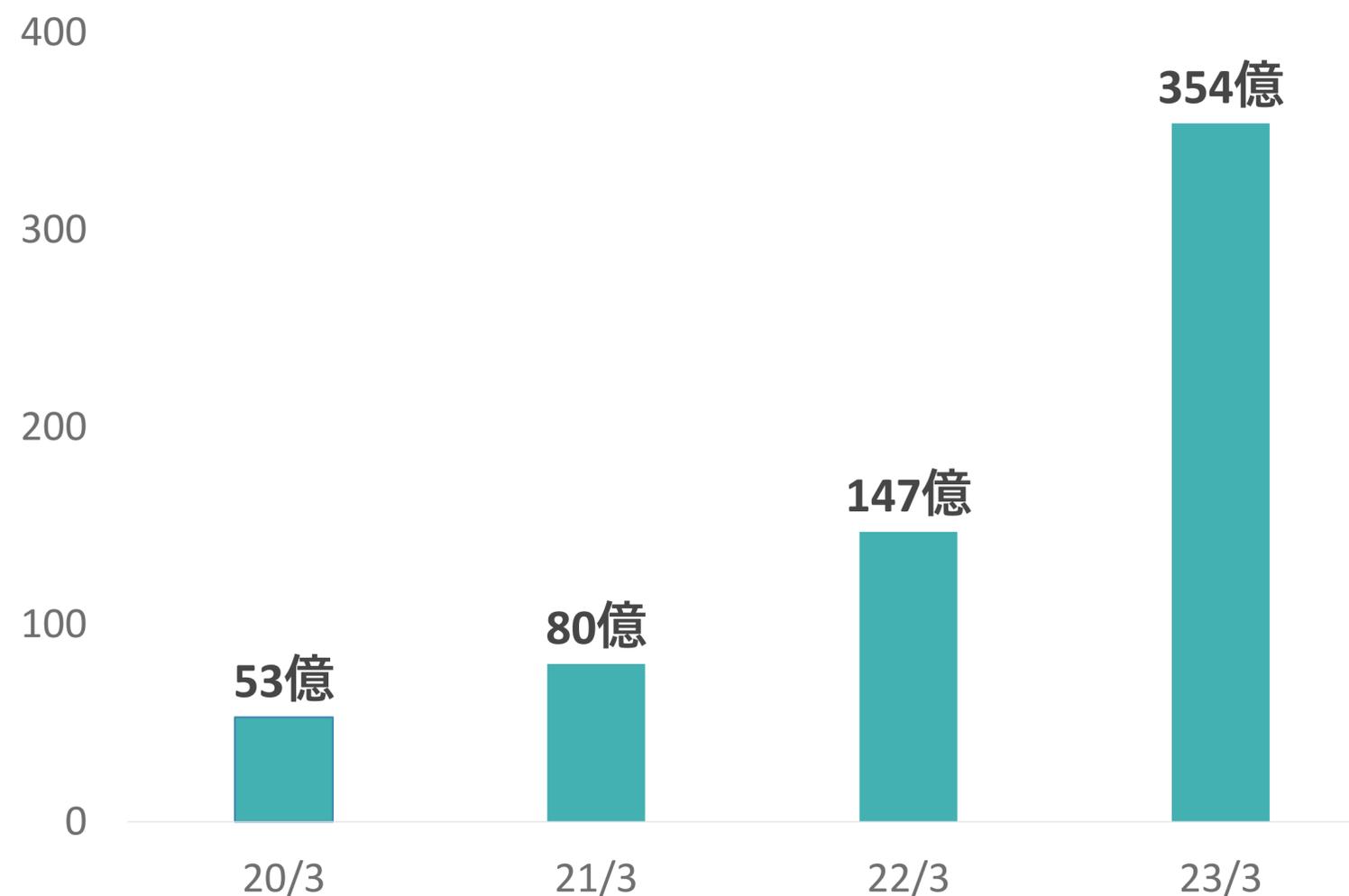
AGギャランティー

- 好調な加盟店開拓を背景に、割賦売掛金残高は前期比139.3%増、営業利益は前期比46.1%増

単位:百万円	22/3	23/3	前期比 増減率
割賦売掛金残高	14,739	35,494	140.8%
支払承諾見返	133	103	-22.6%
営業収益	1,323	2,711	104.8%
営業利益	535	781	46.1%
経常利益	535	783	46.5%
当期純利益	376	379	0.7%
貸倒償却率	0.42%	0.65%	0.23pt

単位:億円

割賦売掛金残高推移



その他グループ会社トピックス

AG メディカル

営業利益 0.5億円

経常利益 0.5億円

当期純利益 0.1億円

営業債権残高 127億円

前期比 +56.0%

AG ミライバライ

営業利益 -10億円

経常利益 -10億円

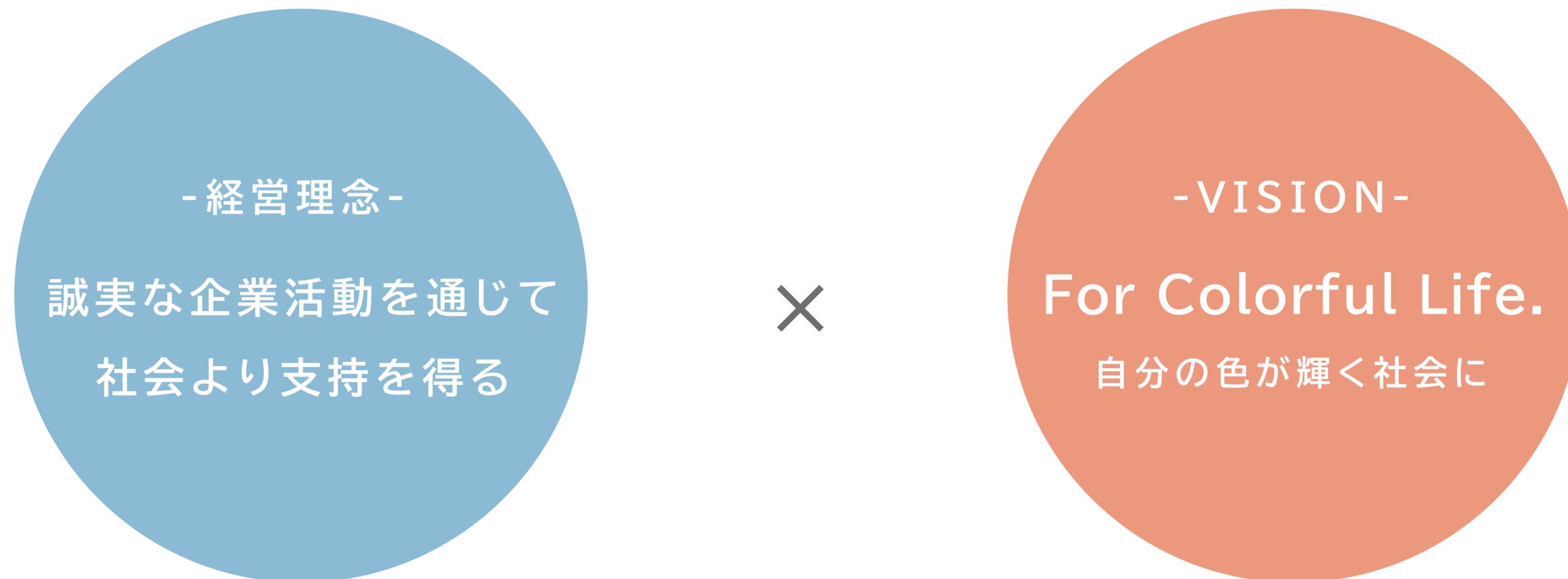
当期純利益 -8億円

買上 191億円
(前期比 +58.9%)

加盟店数 506千店
(前期比 +16.8%)

07 參考資料

サステナビリティ基本方針



私たちアイフルグループは、
あらゆる人が自分らしくいられる未来を創造していくために
「持続可能な社会の実現」と「グループの成長」の両立を目指します。

サステナビリティへの取り組み



ハッカソン開催



- 京都や東京に加え、タイ王国にて大学生向けハッカソン『aihack』を開催。本イベントを通して、優秀な理系・技術系学生に当社のビジネスモデルへの理解を深めていただき、当社認知の向上を図り、健全なリテールファイナンスの発展に寄与するとともに、17の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献してまいります。



ソーシャルファイナンス・フレームワーク策定



消費者金融業界では初となる
ソーシャルファイナンス
フレームワークを策定



JCRによる評価

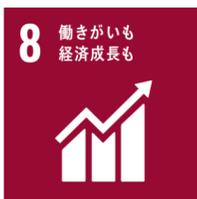


総合評価	Social 1 (F)
ソーシャル性評価(資金使途)	s1 (F)
管理・運営・透明性評価	m1 (F)

- 金融システムとしてファイナンシャル・インクルージョンをテーマに、個人事業者の消費活動・経済活動を支える様々な事業を行っております。全ての人々に金融サービスへのアクセスを提供できる社会の実現に貢献してまいります。

サステナビリティへの取り組み

その他関連情報



コミュニケーションブックの発行



- 当社のサステナビリティへの取り組みをより多くの方にご理解いただくためコミュニケーションブックを発行

<https://www.ir-aiful.com/data/current/CB2022.pdf>

福田美術館



- アイフル創業者の福田吉孝が京都嵐山に美術館を設立
- 現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に継承する
- 2022年10月1日に開館3周年を迎えた

主な取り組み一覧

重点課題	テーマ	主な取り組み・事業	関連するSDGs
環境面	脱炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用量の管理 ・クールビズ、ウォームビズの取り組み ・COOL CHOICEへの賛同 ・業務効率化への取り組み ・複合機の台数削減 	  
	資源循環の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別、リサイクル ・緑の募金活動 ・グリーン商品、エコマーク商品の購入推進 ・カード明細のWEB化 	 
社会面	社会の期待に応える商品づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な資金ニーズに応える商品開発 ・お客様の声の収集とサービス品質の向上 ・AIFUL-CSIRT(サイバー攻撃対策チーム) ・新興国での金融サービス提供 	
	職場および労働環境	<ul style="list-style-type: none"> ・人事大綱の制定 ・ハラスメントホットライン ・従業員の意識、満足度調査の実施 ・健康診断、ストレスチェックの促進 	
	ダイバーシティ推進	<ul style="list-style-type: none"> ・プラチナくるみん認定取得 ・女性採用の拡大 ・女性の育成、登用 	
	社会貢献・地域との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・献血活動 ・AED設置、救命講習 ・大規模災害に伴う寄付 ・新型コロナウイルス対策支援 	  

アイフルグループの事業

(株)FPCおよびセブンシーズ(株)がアイフルグループ入り
グループ17社で、**全ての顧客ニーズに応えるビジネスの創造**を目指す

ローン・保証



事業者ローン



クレジット・保証



後払い決済



クラウドファンディング



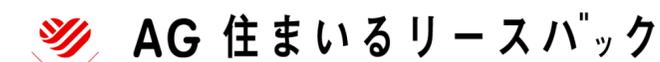
ベンチャーキャピタル



サービサー・企業再生



リースバック・家賃保証



倉庫業



少額短期保険事業



システム・
エンジニアリング・サービス



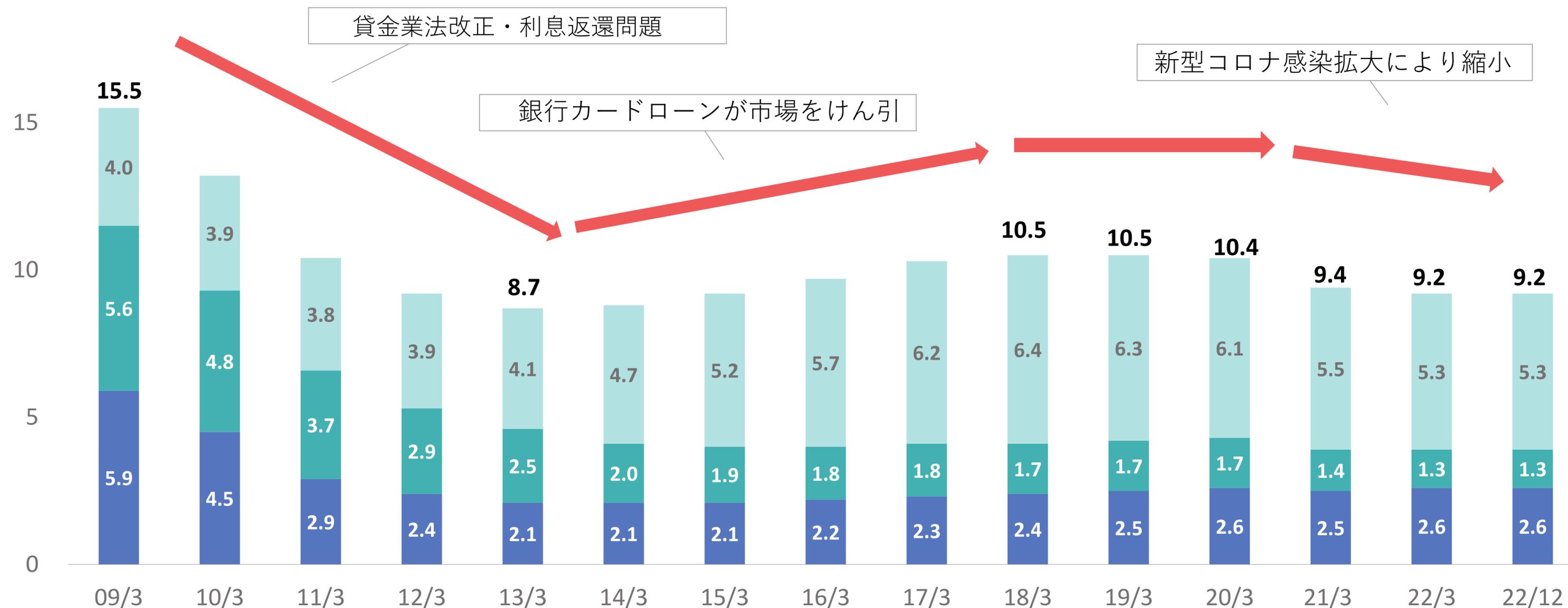
海外



無担保ローン市場

単位:兆円

■ 金融機関 ■ クレジットカード ■ 消費者金融



※消費者金融・クレジットカード：日本貸金業協会統計 金融機関：日本銀行統計（国内銀行及び信用金庫の個人向けカードローン残高）

24/3計画(2カ年計画比)

- 営業債権残高拡大に起因し、貸倒関連費用・広告宣伝費が増額。結果、営業利益・経常利益は2カ年計画を下回る

単位:百万円	23/3	24/3(E) 今回計画	前期比 増減額	前期比 増減率	24/3(E) 2カ年計画時	今回計画 増減額	今回計画 増減率
営業債権残高	1,015,910	1,156,400	140,489	13.8%	1,120,000	36,400	3.3%
ローン事業	648,760	715,600	66,839	10.3%	697,000	18,600	2.7%
クレジット事業	142,899	182,000	39,100	27.4%	163,000	19,000	11.7%
支払承諾見返	204,078	236,400	32,321	15.8%	244,000	-7,600	-3.1%
営業収益	144,152	161,200	17,047	11.8%	157,000	4,200	2.7%
営業利益	23,724	25,200	1,475	6.2%	28,000	-2,800	-10.0%
経常利益	24,428	25,500	1,071	4.4%	28,000	-2,500	-8.9%

2カ年累計(23/3・24/3)の比較

- 2カ年累計においては、営業債権残高の拡大に起因した広告宣伝費や金融費用の増加等を背景に、営業費用が3.9%増の2,564億円、営業利益は5.6%減の489億円

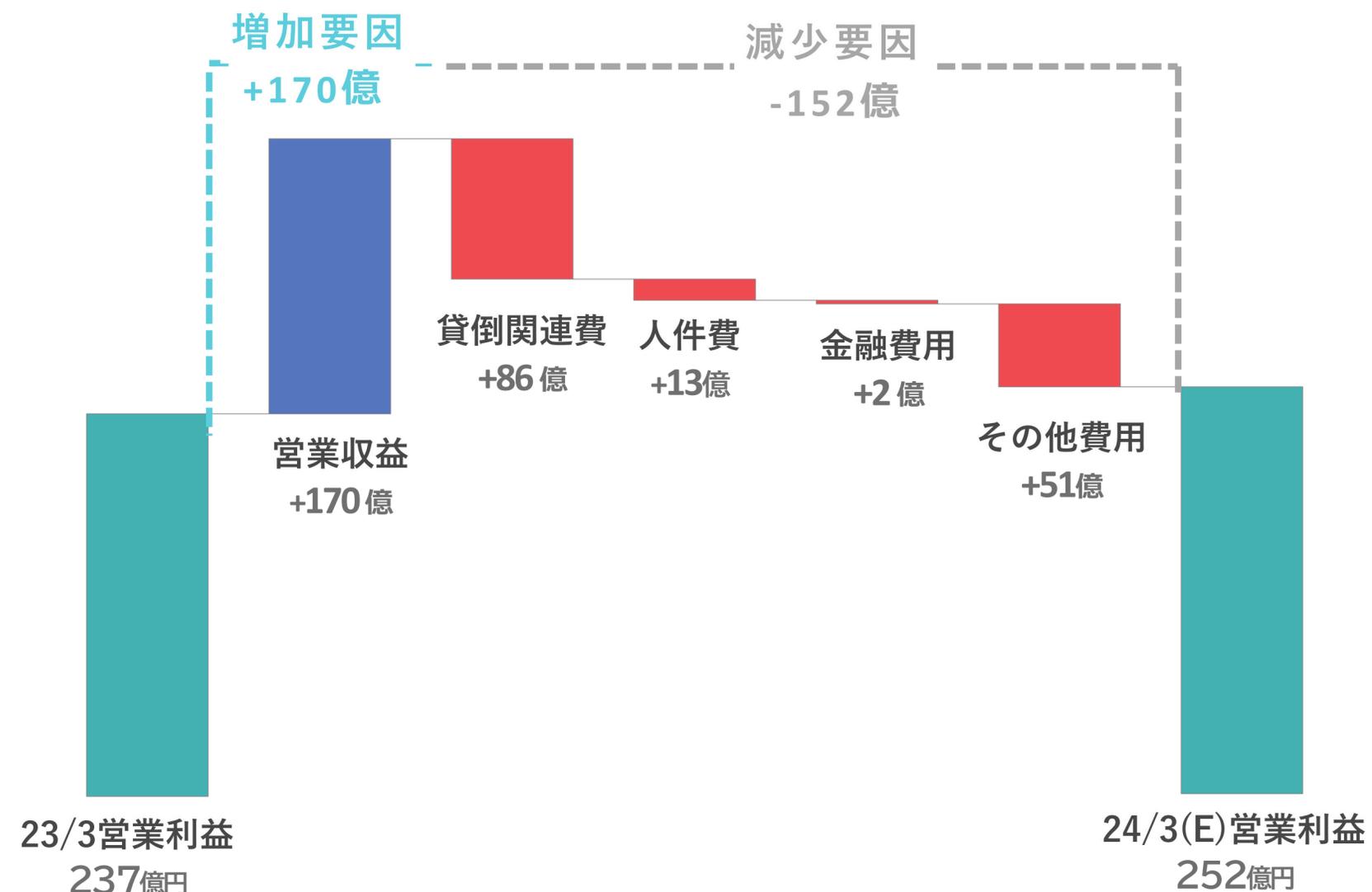
単位:百万円	2カ年計画累計 23/3 (E) 24/3 (E)	実績および今回計画累計 23/3 (実績) 24/3(E)	期初計画累計比 増減額	期初計画累計比 増減率
営業収益	299,600	305,352	5,752	1.9%
営業貸付金利息	173,700	177,530	3,830	2.2%
包括信用購入あっせん収益	38,400	42,108	3,708	9.7%
信用保証収益	34,700	36,030	1,330	3.8%
営業費用	246,800	256,427	9,627	3.9%
営業利益	51,800	48,924	-2,875	-5.6%
経常利益	52,000	49,928	-2,071	-4.0%

計画概要

23/3実績と24/3計画概要（連結）

単位:百万円	23/3	24/3(E)	前期比 増減額	前期比 増減率
営業収益	144,152	161,200	17,047	11.8%
営業費用	120,427	136,000	15,572	12.9%
金融費用	7,068	7,300	231	3.3%
利息返還関連費用	-	-	-	-
貸倒関連費用	36,004	44,700	8,695	24.2%
広告宣伝費	16,876	16,800	-76	-0.5%
人件費	17,386	18,700	1,313	7.6%
その他費用	43,091	48,300	5,208	12.1%
営業利益	23,724	25,200	1,475	6.2%
経常利益	24,428	25,500	1,071	4.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	22,343	22,600	256	1.1%

営業利益の増減要因



- 営業債権残高の拡大に伴い貸倒関連費用等の費用が増加するものの、営業利益は前期比14億増の252億円を見込む

－ 本資料に関する注意事項 －

本資料の数値のうち、当社グループの計画・方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社グループが把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、これらの予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであり、実際の業績は、諸々の要因により、これらの予想値と異なってくる可能性がありますのでご留意ください。